〔大正九年十二月十四日　第三種郵便物認可〕

夕刊
八月三十一日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓
（郵税一ヶ月拾五錢）
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話（編輯局專用（3）三三二五　營業局專用（3）三三〇〇）

發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　永越内之介

天、人倶に許さゞる支那飛行機の暴虐

フーヴア號爆撃に見る

海軍省副官談

【東京國通】支那飛行機のフーヴア號爆撃事件につき海軍省では卅日午後十一時半左の如き副官談を發表した

卅日午後五時頃呉淞港外に假泊中の米國汽船フーヴア號は支那軍飛行機の爆撃を受け乘客および船員に死傷者を生じ、附近に所在する帝國軍艦〇〇及び英國支那艦隊旗艦カンバーランド號は直ちに現場に急航し、わが艦よりは軍醫官および看護兵を派遣し救援に從事中との報告に接したが、不慮の危害を蒙つた乘客および船員に對しては誠にお氣の毒に堪へない、十四日以來の上海租界内の爆撃といひ今次フーヴア號に對する爆彈投下といひ支那軍の暴虐は天、人ともに許さゞるところであつてあくまでもこれを膺懲するの必要を痛感する次第である

ハル米國務長官語る

【ワシントン卅日發國通】支那飛行機のフーヴア號爆撃事件は米國朝野に多大の衝動を與へてゐるが、ハル國務長官は三十日記者團との會見において左の如く語つた

上海の情勢が漸次平穩となり二十八日には若干商取引も復活したとの公報に接し政府も安心したときにかゝる不祥事が發生したことは洵に遺憾に堪へない、政府は取敢えずジョンソン駐支大使に南京政府へ嚴重抗議方を訓令した、上海には未だ約二千人の米國人が殘留してゐるが、必要とあらば全部米國軍艦で引揚げる用意が出來てゐる

なほハル長官は抗議に引續き南京政府に對し損害賠償を要求する意向なる旨示唆したが、政府は上海の情勢が險惡な間當分米國汽船の上海寄港を見合はすやう各汽船會社へ勸告することになるかも知れぬといはれる

駐支米大使嚴重注意

【南京三十一日發國通】滯在中の米國大使ネルソン・ジョンソン氏は三十日夕刻フーヴア號事件の公電に接するや直ちに南京政府外交部に對し本事件につき嚴重注意を喚起した

南京政府責任負擔聲明

【南京卅日發國通】南京政府外交部では卅日午後十一時聲明を發表し、フーヴア號事件に對して南京政府は全責任を負ひ充分なる賠償をなすべき旨を披瀝した

支那機のフ號爆撃

南京政府も承認

第三國干渉誘導の魂膽か

【南京卅一日發國通】南京政府はフーヴア號の爆撃事件に關し調査の結果午後十時右は支那軍用機が日本運送船と誤認しフーヴア號に爆撃を加へたるものである旨を承認しその旨を非公式に發表した、支那飛行機が十四日以來共同租界、フーヴア號等に度重なる不法爆撃を敢へて行つてゐる事件についてはわが當局では支那側の過失といふには餘りに不審の點多くあるので或は第三國に紛爭の脅威を與へることによつて事變に對して第三國の干渉を誘導せんとする策謀ではないかと深甚な注意をなしてゐる

飛行機の爆撃も全く軌を一にするものであり第三國に損害を與へることによつて第三國の干渉を自然的に誘發せんとする魂膽に發したものであることはいよいよ明白となり來つた、我方としては斯くの如き實をもつて實を制せんとする支那側の策謀を斷乎排撃するとゝもに計畫的に第三國の非戰鬪員を殺傷せんとする天人ともに許さゞる支那側の暴虐に對してはその徹底的膺懲の必要を痛感してゐる

第三國の干渉を

誘發せんとの計畫的策謀

【東京國通】支那軍飛行機は三十日午後米國汽船フーヴア號を爆撃し、今更ながらその無軌道暴虐振を暴露してゐるが、我方の見るところによれば、この種第三國に對する支那側の暴擧は全く計畫的のものであつて、去る十四日以來上海租界に對して行つた支那外廿哩の附近に假泊してゐた

フ號神戸に向ふ

航行に差支へなく

【上海卅日發國通】ダラー汽船會社上海支店に到着した情報によれば、フーヴア號の損害は船員五名負傷、内二名重傷、船客二名も昏倒負傷した右負傷者は直ちに英國艦隊旗艦カンバーランド號に移して手當を加へた、同船は呉淞港ものであり爆撃のため船體には直徑廿五フィートの大穴があいてゐたが、航行には差支へなく同船は會社の命により直ちに神戸に向け出帆した

フ號爆撃の一機を撃墜

【上海卅日發國通】わが〇〇機二機は卅日午後五時卅分頃プレジデント・フーヴア號を爆撃せる敵カーチスホーク三機を認めこれを追撃、壯烈な空中戰を演じ一機を撃墜した

長驅徐州驛を爆撃

【東京國通】卅一日午前十一時卅分海軍省發表副官談

昨卅日わが〇〇海軍航空部隊の〇〇機は午後八時頃津浦線と隴海線の交叉する軍事輸送上の重要地點たる徐州驛を空襲し構内において軍需品を滿載せる貨車群を爆撃粉碎し線路にも多大の損害を與へ、なほ敵戰鬪機の追撃を反撃し全機無事に歸還した

遂に我軍廣東空爆

【香港卅一日發國通】三十一日午前六時わが海軍〇〇航空隊〇機は初秋の空を衝いて長驅廣東上空に現れ支那軍用飛行場および附近多數の掩蓋砲座を爆撃し多大の損害を與へた、右爆撃により廣東市民は一大恐慌を來し市内は逃げ惑ふ避難民のため大混亂を來してをり沙面に通ずる門は直ちに閉された

廣東の一ケ師

我軍に投降し來る

廣東軍百五十三師

【上海三十一日發國通】廿八日午後四時すぎわが和知部隊の羅店鎭攻擊直後多數の食料彈藥を携帶し、わが軍に投降を乞ふ支那軍一ケ師有り、わが軍は直ちに調査の結果百五十三師（廣東軍余漢謀親衞隊）なること判明した、投降兵の語るところによれば支那軍は戰鬪開始以來一週間は殆ど食料も與へられず謀議地とされる部落は殆ど掠奪される有様で一方連日の日本軍の猛攻撃に遭ひ戰意全くなく、たゞ後方にお ける督戰隊の監視に恐れ全く前門の狼、後門の虎といつたやうに進退谷まり如何にして脱出しやうかとのみ考へてゐる有様で、自分達もその機を狙つてゐた時今度の日本軍の攻撃で全敗潰滅に瀕したので、ひそかに高粱畑に潜み日本軍の發見を待つてゐたのだ、支那軍も今は後續部隊もなく彈藥食料等の輸送も行はれず全くみじめな有様である

廣東陸海軍に

支那領海警備命令

【香港廿九日發國通】上海方面の形勢漸く不利となるや廣東第四路軍首腦部は連日緊急會議を開き對策につき協議中であつたが、廿八日漢司令余漢謀は麾下の陸海軍に對して廈門より南に至る廣東省海岸線警備支那船舶の保護を嚴重にするとゝもに敵の飛行機、軍艦が支那領海に進出するときは發見次第反擊すべしと嚴命を下し、さらに潮州汕頭防衞司令李漢魂に廣東省東部防衞の指揮全權を委ねた、右命令に基き支那海軍は廣東以東香港、廈門間を結ぶ主要港間の交通確保に主力を注ぎ虎門砲臺司令陳策は廿八日廣東より虎門に至り自ら防備指揮に當つてゐる

青島の三機關

引揚げん

【青島卅日發國通】青島居留民の引揚げは卅一日正午出帆の日光丸および大連丸で一應輸送を終り殘るは四、五十名の居留民と官衙、警察關係者の約二百名とであるが、出先陸海總領事館三機關の一致した意向としては居留民引揚げの精神を徹底させるためには居留民一切の財産を沈市長の責任下に保護さすべきが妥當なりとし、この旨東京に請訓を仰いでゐるから卅一日中には何分の回訓ある筈である、なほ陸海軍武官は九月二日發の青島丸で一先づ大連に引揚げる豫定で、總領事も本省の回訓次第で引續き引揚げる筈

我海軍の砲彈

上海市廳舍、獅子林泡臺に命中

【上海卅日發國通】わが軍艦〇〇は卅日午前十時頃より約一時間にわたり〇〇に近き揚子江岸及び上海市廳舍附近に砲火をあびせかけたところ目標あやまらず敵に大打撃を與へ市廳舍に砲彈見事に命中し獅子林砲臺にも砲彈命中し火災を起した

支那兵の死傷三百餘

【上海卅日發國通】海軍武官室午後八時發表

廿九日調査の結果によれば廿八日午後南停車場爆撃により新に到着せる支那兵の即死六十名にしてその他六十名は收容後死亡せり、またそのほか二百名は負傷せり、一般民衆の被害を蒙むれるは支那兵に對する驛の賣子一、二名のみ

羅店鎭を拔き嘉定を攻撃

【〇〇卅一日發國通】廿三日〇〇方面に上陸せる〇〇部隊と相呼應して〇〇方面に上陸せる〇〇部隊は、連日敵陣地を空陸相呼應して攻撃潰滅的打擊を與へてゐるが、廿八日午前七時羅店鎭方面の總攻擊を開始し正午同方面を占據しさらに〇〇部隊は嘉定方面の敵を攻撃しつゝあり、なほわが軍後方に敵敗殘兵出没し輸送部隊との連絡を遮斷しつゝあるため〇〇增援隊は殘敵を掃蕩しつゝ〇〇方面に進擊しつゝあり

國府直系學校接收

【天津卅日發國通】北平市内にある南京政府直系の學校は二十九日治安維持會により接收された、右學校は大學校、專門學校各四、中小學校各七である

支那側益々增兵

突入せることは支那軍に多大の脅威

【上海卅日發國通】わが陸軍の敵前上陸殊に〇〇部隊の敵陣後方深く突入せることは支那軍に多大の脅威を與へたもの丶如く、支那側は續々と大軍を集中防禦に努めつゝあり、卅日までに判明せる師團のみにても

第十一師（師長莫與碩）
第廿四師（同　許克祥）
第卅六師（同　宋希濂）
第六十一師（同　楊步飛）
第五十六師（同　劉尚志）
第六十七師（同　馮鵬）
第百二師（同　柏輝章）
第六十師（同　陳沛）
第六十二師（同　唐柳）
第十六師（同　章亮基）
第八十七師（同　王敬久）
第八十八師（同　楊明升）
第十五師（同　李覺）
第六十三師（同　陳光忠）
第五十七師（同　阮肇昌）

など十六ヶ師の多數に達してゐる、勿論これ等多數師團の兵員全部が參戰してゐるのではなく或る師團數箇聯隊或は一箇旅といふやうに一部分を參加させてゐるので、師團名多數の割に兵員は少數であるが、優に十萬を超すものとみられてゐる、なほこれら作戰參加の軍隊は

單に中央軍のみならず

湖南、廣東、廣西などの地方軍にもおよび廣西軍の如きは約一萬の兵を選拔輸送中と傳へられてゐる

要人連轉々と逃廻り

外國使臣呆れる

空襲に怯ゆる南京政府

【上海卅日發國通】わが空軍の十回にわたる果敢なる空襲に南京政府要人達も困憊の色漸く濃く自己一身の安危を顧みるに急にして現地位を死守せんとする者少く政務いよいよ澁滯しつゝある際、ことに外交部長王寵惠の如きはカバンを抱えて逸早く外交部の建物を脱出して登廳せず個人的縁邊を頼つて轉々として毎日居所を變更しひたむきに逃げ廻る有様である、外國使臣も何處に外交部があるのかわからず、今更ながら支那要人連の意氣地なしに呆れてゐる

赤柴部隊

呂官屯占領

【呂官屯卅日發國通】赤柴部隊は諸所に戰鬪を交へ、潰走する敵を急追二十九日午後四時半長驅呂官屯を占領した、この日の戰鬪において敵の蒙つた損害は遺棄死體より見て極めて多數にのぼる見込でわが方負傷は僅かに四名

皇軍慰問の高柳代表歸京

第一線記者には激勵と鼓舞

全滿記者聯盟代表高柳弘報協會理事長一行は天津到着以來約十日間にわたり駐屯軍司令部を始め長辛店、南口、居庸關等の第一線各部隊を訪問、暴戻なる支那軍膺懲のため酷熱を冒して果敢な戰鬪を續けてゐる皇軍將士に對し親しく慰問の言葉を述べ、さらに第一線にあつてこれ等將士と勞苦をともにしつゝある從軍記者達を激勵鼓舞し滯りなく使命を果して廿九日大連に到着一行の中高柳代表は卅一日午前八時十分着列車で在京新聞通信關係者多數の出迎裡に十六日振りで歸京した、なほ同じく代表の大石大同報主幹及び大西國通編輯局次長は同日午後六時廿分着あじあで歸京の豫定である

三日各派交渉會

【東京國通】貴族院研究會では卅日午後一時より事務所に協議委員會を、同三時より總會を開き臨時議會に臨むべき準備につき種々協議の結果、全院委員長には前特別議會通り火曜會の德川圀順公を推すことに決定、また常務委員も特別議會と同一委員とすることに決し、九月三日各派交渉會を開き正式決定することゝし同四時散會した

人事往來

着京

▲熊副力氏（會社員）三十日來京ヤマトホテル
▲勝田重直氏（辯護士）同
▲森山德次郎氏（島津製作所）同
▲武安俊彥氏（會社員）同
▲渡邊文平氏（撫順セメント）同
▲矢中快輔氏（會社員）同
▲山崎龍一氏（同）同
▲三浦虎雄氏（代議士）同
▲谷口貞氏（滿洲工廠）同國都ホテル
▲北田榮太郎氏（安東商工會議所）同
▲小西政太郎氏（日本工業）同
▲賀谷爆爾氏（煤鐵公司）同
▲山島登氏（滿鐵）同
▲土生琢介氏（同）同
▲深山達藏氏（同）同
▲岩間壽包氏（村木商）同蓬萊ホテル
▲佐々木信一氏（商業）同
▲楊乃時氏（チチハル市長）同大和新館
▲本田正雄氏（同秘書）同
▲竹中庫起氏（請負業）同
▲佐藤勝士氏（同）同
▲黑澤高助氏（北海道大學教授）同新京ホテル
▲中村軍良氏（延吉林務署）同
▲善岡宮治氏（五常林務署）同
▲中村五郎氏（同）同
▲山口富次郎氏（土木業）同
▲山本庄吉氏（圖們興業會社）同國際ホテル
▲藤原源太郎氏（商業）同
▲藤井正氏（興安學院主事）同
▲鈴木茂樹氏（官吏）同
▲上野濟氏（滿鐵）同
▲梶原草二氏（商業）同
▲藤川晴美氏（官吏）同富士屋
▲渡邊秀親氏（村木商）同

出發

▲清水靖雅氏　三十日發ハルビンへ
▲宮森庄太郎氏　同
▲里正義氏　同
▲大屋外久雄氏　同奉天へ
▲八田喜三郎氏　同
▲石垣武司氏　同
▲永井巧氏　同
▲渡邊秋之助氏　同
▲金田宗次氏　同
▲田中茂太郎氏　同
▲吉崎民之輔氏　同
▲兒玉桂三氏　同福岡へ
▲富士貞吉氏　同吉林へ
▲關守銳氏　同營口へ
▲田坂義雄氏　同撫順へ
▲三浦一雄氏　同阜新へ
▲宮副義智氏　同吉林へ
▲久松治氏　同大連へ
▲萩永庫太氏　同
▲三溝又三氏　同
▲衞藤彥吉氏　同
▲栗田秀次氏　同
▲石谷德三郎氏　同雄基へ
▲末松忠勝氏　同奉天へ
▲宗像義人氏　同
▲山崎誠氏　同
▲井上九郎氏　同旅順へ

その日く

□はやくも復興氣分溢れるといふ、すでに上海リルの唄などうたはれてゐる事か

□豫測された如く南京の内部的對立は激化したと、不可侵條約は平和の用具どころか

□彼兵力を上海方面に集中、だがわが陸海兩軍の堅陣の前にひとたまりもあるまい

□愈よ滿拓公社創立へ、雄厚の組織下に美滿なる成果の結實を待望しよう

□慌だしい足取りで八月はゆく、秋冷加はるとき各人一層の緊張こそ

記事輻輳に付き『白い天使』休載

社頭に積る徳行

雨の朝も續く三年の清掃

近く氏子總代會表彰

全滿を探しても他にその例を見ない日本の神德あらたかなるに感激して奉賽の意味において雪の朝も雨の夜も一日かゝさず三年間新京神社の社頭清掃、戸締り手傳を續けてゐる感心な支那人がある

原籍河北省昌黎縣生れ新京住民馬逢春（四三）が佳話の主人公である

馬氏は 大同元年十月に吉林で運搬業を營んでゐたが業績揚がらず終ひに事業に失敗し、引續いて妻子三名までが病歿し自分も健康を損ね腰は痛み、各所の妙藥を求め、大廟寺院に祈願をして見たが病は意の如くならなかつた彼は既に

施す術 を知らず、思ひ切つて「もう斯うなれば日本の神樣にお祈りして見やう」と大同三年一月のある雪の深夜ひそかに新京神社に忍び込んで雪の中に額づいて熱心に祈願して三ヶ月祈り通したのが神に通じてか、馬の腰痛も癒え

顏色も よくなつた、日本の神樣の靈驗あらたかなのに今更の如くに驚いた馬氏はこれは神樣のお蔭だと康德元年六月十五日から毎朝起出で社頭の草取り、掃く掃除まで行ひ參詣者の見る時刻にはひそ〳〵とかへり、また宵も深くなり

十時半 ごろになれば必らず境內に現はれて社務所員が閉ぢる戸締りの手傳ひし最近は毎朝四時半乃至五時ごろから六時ごろまで神官とともに拜殿のふき掃除まで加勢して奉賽した、日本人の參詣者にも「おゝお早う御座います」と一々愛嬌よく挨拶さへ交へるので

朝詣り の日本人も社務所で使つてゐる人夫かとも思つて見逃がしてゐるが、曾つては日本の神社に滿人が這入り込んでは神威を傷つけると無暗矢鱈に毆打されて鼻血を出したり、顏に

生傷を うけることは再三再四で、なほも努らず怠まず三年間續けて來たものである、馬氏は今回設けられる建國大學校の守衛として近く採用される模樣で、社務所としても氏子總代に諮つて近く表彰の手續をとる模樣である

（寫眞は新京神社に奉仕する馬氏、けさ撮す）

神を通じて一德一心を 植村神官談

右につき植村神官は語る かゝる感心な滿人は全滿、日本國中探し歩いても他に例を見ないものと思ひます雪の朝も雨の夜もそれこそ降らうも照らうも一日かけず三年間掃き掃除、ふき掃除、草取りなど日本人も及ばぬこの奉仕にも驚きます神道を通じての日滿一體は私の着任第一歩のとき御紙を通じて皆樣にお誓ひしたことでありましたが、いよ〳〵その實現の緒についたものと心ひそかに喜んでゐます、近く正式手續きを經て表彰して上げたいと思つてゐます

關東震災十五周年

一日國恩感謝國旗掲揚式

新京教化聯盟主催の恒例國恩感謝國旗掲揚式は一日午前七時から新京神社境內で擧行されるが當日は宛かも關東震災十五周年に相當するので式後一分間默禱を捧げる事になつた、全市民の參加を希望する

全職員を總動員

青年校入學生勸誘

新京青年學校ではかねて國策遂行を期して同校後援會の援助と雇傭主の理解のもとに全職員が總動員で入學該當青年の入學勸誘、出席獎勵に努力してその實を擧げて來たが、更に刻下の時局はます〳〵その重大性を増すに鑑みて新學期とともに入學勸誘に力瘤を入れることに決したので在住邦人商店主、會社幹部も青年學校の趣旨に鑑みて使用人の入學、出席勸誘に一層の助力をして欲しいと、なほ本校では何時でも入學を許可すると

危險鼻疽肉販賣

斃馬肉賣さばく寸前「コラッ」

卅日密行中取押ふ

恐るべき鼻疽の馬肉が悪德業者の手から廣く市中に賣りさばかれんとする矢先き危く化製場員の炯眼に發見され危害は未然に防止された、三十日午前九時三十分ごろ城內新市場附近で立話中の二人男がしきりに斃馬の賣買交渉を進めてゐるのを密行中の特別市化製場密偵が發見、追窮すると右は當局に無許可の獸肉販賣業者及び馬の所有者で同日午前九時ごろ持馬一頭が鼻疽らしき病氣で斃死したので早速前記業者に七圓五十錢で賣買を約し既に斃馬は解體したことを自供したので早速自宅から問題の馬肉を押收すると共に兩名を連行せんとしたところ突然逃走を企て追跡したが雜沓にまぎれて行方を晦ましてしまつた、化製場では早速この旨首都警察廳に急報、衛生科から中野獸醫が出張して馬肉の檢査をすると果して鼻疽の中でも最も恐るべき解放性鼻疽と判明したので直ちに市公署の手で燒却處分するとともに附近一帶の大消毒を行つた、なほ逃亡した犯人は司法科で極力搜索中である

蔣殉職自衛團員 告別式執行

寛城子警察署横廣場で

于總監參列し嚴肅

二十八日午後十時三十分ごろ管內の一齊檢索中二人組怪漢の兇彈に倒れた寛城子自衛團員蔣立乾氏の告別式は保薪をもつて三十一日午後一時から寛城子警察署横廣場に於て盛大に執行された、于警察總監、曾根警務科長、上間司法科長、村上搜查股長、山崎治安股長以下廳員、大木憲兵隊長、宋長春縣長、各保甲長等多數參列、式は僧侶の讀經に開始され、葬儀委員長溥保長の開式の辭あつて同委員長、遺族、于總監、曾根警務科長、上間司法科長、寛城子警察署長、來賓の順序で燒香を行ひ、次いで總監、司法科長、平柳警長の弔電披露、行友警務主任は來賓弔辭を朗讀、司法科長、來當時の悲壯なる殉職狀況の報告をなして追懐を新たにし最後に蔣委員長の閉式の辭あつて同二時過ぎ嚴肅裡に終了した

滿鐵初代北支事務局長

次長と來京

今回滿鐵で天津に新設した滿鐵北支事務局初代局長に任命された前總局輸送委員會委員長杉廣三郎氏は同次長石原重高氏を伴ひ在京各關係箇所に就任挨拶のため三十一日午前八時十分着急行列車で來京、一旦ヤマトホテルに投宿して滿鐵支社、關東軍その他を訪問、挨拶を述べて同日午後二時十分發あじあで奉天に歸つたが、杉氏は語る

九月四日に奉天を出發赴任の豫定で、新京の各關係箇所に就任挨拶のため來京した、任地に行つて見ないと何から手を出してよいかさつぱり見當がつかないが何といつても今度は相當面倒な問題が山積してゐる事だらう、從來の天津事務所が執つてゐた滿鐵の一切の仕事を續ける事になるはず

【寫眞は新京着の杉局長（左）と石原次長（右）】

平穩な二百十日

九月一日

一日は二百十日、二百十日は立春から數へて二百十日に當る日を云ひ現行の太陽曆に於ては概ね九月一日頃になる、この頃は內地では氣候の變り目で南洋地方に强力なる低氣壓が發生し颱風となつて襲來し多大の損害を與へる事が多い、又稻作に最も大切な時期である、一日の天候に就き中央觀象台に伺ひを立てると

△本州一帶＝目下降雨や雷雨のところあり天氣は餘りよくない

△北陸奧羽地方＝奧羽東岸に三十日から低氣壓が停滯しあすもかうした天氣が續くらしい

△中國、四國、九州は天氣概ね晴

△沖繩諸島＝颱風襲來の兆あり

△朝鮮地方＝晴れたり曇つたり

△滿洲地方＝大體晴れとなつてをり沖繩諸島を除き大體に於て平穩な模樣である

日滿軍恤兵金に

王自治委員長や牛羊組合

軍司令部に献納

日支事變に寄する滿洲國人の熱誠し、特別市王自治委員長はじめ外七名は三十一日午前日滿軍恤兵金として七十五圓を醵出したが同時に牛羊同業組合からも二十圓の献金があつたので王委員長は一由文書股長を帶同、取纒めて三十一日午後一時軍司令部を訪れ献納した

大每舍

映畫收益を

大每舍田中勘助氏は去る廿一日公會堂に於て讀者慰安活動寫眞大會を開催したが當日の場內整理料より公會堂使用料を差引いて金五十圓の利益を皇軍慰問恤兵献金として本社に寄託したので本社では直ちに献金手續をとつた

御影池長官 御影池關東州廳長官は三十一日午前八時十分着列車で來京、ヤマトホテルに投宿した

鶴見總領事 鶴見ハルピン總領事は三十一日午前八時十分着列車で內地から來京同三十分發列車でハルピンに歸任した

あす（九月一日）

▲國恩感謝國旗掲揚式、午前七時、新京神社境內

▲震災記念日

▲關東局施政記念日

▲二百十日

▲新京普通學校十五周年記念日

今晩の主なる演藝放送

▲八・〇〇吹奏樂行進曲「セメノー」（東京）全關東吹奏樂團聯盟▲八・三〇落語「松山鏡」（東京）桂文樂▲八・五〇浪花節「軍國の母末期の乳房」（大阪）梅中軒鶯童

國際共產黨檢擧

全滿に亘る王以下の活動

事件の全貌本日記事解禁

昭和十年一月初旬當時滿洲國皇帝陛下 旅順御避寒を目睫に控へ大連市內に不逞者潛入の情報頻々として相踵ぎ重大陰謀を企圖しあるやの兆漸次明となつたので當局は事態の重大なるを察し特に大連各警察署を督勵新聞通信記事掲載を禁じ嚴重な警戒を行ひつゝあつたが一月十七日に至り大連署に於て在大連の重要機關爆破を計畫し居る一味不逞分子潛入の確證を得たので一味の潛伏個所發見に全力を傾倒しつゝあつた處更に廿日午後三時頃市內寺兒溝山林中に於て一味密會中の事實を探知し時を移さず現場に急行彼等の下山を邀して一味たる孫玉亭、崔存正の兩名を逮捕し嚴重追窮の結果其の自供に依り奉天、營口、安東、鐵嶺、撫順に各連類者あることが判明したので直に關係署に手配の上主魁王濟之以下十三名を檢擧取調べも一段落したので本日記事一切を解禁した

被疑者氏名

一、原籍 山東省昌樂縣南鄕宋庄 住所 奉天大西關廣泉通後胡同七號 王子明こと 王濟之 當三十八年

二、原籍 山東省壽光縣王家庄 住所 大連市香爐礁第四區五八六番地 無職 王仁發 當三十二年

三、原籍 山東省壽光縣王家庄 住所 大連市東山町福昌華工宿舍 無職 孫玉亭 當二十八年

四、原籍 山東省壽光縣崔家庄 住所 大連市千代田通三〇福昌華工宿舍 苦力監督 崔存正 當二十五年

五、原籍 三江省富錦縣城內 住所 營口舊市街硝礦局街 小學教員 李子敬 當二十三年

六、原籍 奉天省盤山縣第二區家窩舖 住所 同 小學校教員 周鳳擧 當二十九年

七、原籍 奉天省撫順縣馬郡邢 住所 同 農 袁國藩 當三十八年

八、原籍 奉天省鐵嶺縣城西關會家廟胡同三一 住所 撫順千金寨中兵街 兩替商店員 龍有光 當三十一年

九、原籍 安東省安東縣 住所 安東縣靑龍街 無職 欒相臣 當二十二年

一〇、原籍 安東省安東縣 住所 安東縣兵寶街 電業傭人 張迺仲 當二十一年

一一、原籍 山東省諸城縣 住所 安東縣順實街 機關區臨時傭人 胡京良 當二十三年

一二、原籍 山東省益都縣 住所 安東大山食堂內 雇人 韓其山 當二十五年

原籍 山東省文定縣 住所 安東縣鎭安街 電業臨時傭人 董厚泉 當二十四年

犯罪事實概要

取調べの進展に連れ南京政府密派のテロ團云々は黨員獲得の一方便に過ぎず事實は國際共產黨員にして孫玉亭は首魁王濟之の命を受け國際共產黨滿洲省委大連市委員會設立並に黨勢扶植を目的に來連工作中のものであつたこと判明したが一味の主魁たる王濟之は營口に於て逮捕した李子敬と共に哈爾濱在住中昭和八年四月同地に於て中國共產黨に入黨し同年九月相携へて莫斯科に派遣され同地に於て三ケ月に亘り共產主義の理論と革命工作に要する技術の教習を受け「滿洲に於けるブルジョアの獨裁を樹立し窮極に於ては共產主義社會を實現すべく」翌九年二月頃歸滿し莫斯科出發に際し指示されし通奉天に於て國籍氏名不詳年齡三十才位の一外國婦人と街頭連絡し同婦人よりの指令に基き爾來中共とは別個に黨團を組織し昭和十年一月迄安東、奉天、營口、撫順に夫々支部を結成し黨勢の擴大に努むると共に在滿樞要機關たる滿鐵本線撫順炭坑、大連埠頭等を爆破し治安攪亂の機に乘じ一擧に帝國主義國家の覆滅を圖り滿洲をして共產主義國家化せんと竊かに爆藥製造に要する材料の購入等に着手し着々工作の歩を進め大連には前記孫玉亭を派遣活動中を檢擧さるるに至つたのであるが彼等の工作資金は每月奉天に於て前記外國婦人と街頭連絡を採り其の都度數百圓を支給されつゝあつたのである

脅威更に續く

京白沿線のペスト

患者既に百名突破

京白線沿線のペストは益す猖獗を極め大縣前地稼子に三十日に至り新患者三名發生一名は死亡しその累計は死亡十一名現患四名となつた、乾安縣午勒子井には又も六名の新患者發生し悉く死亡したがこれで患者累計死亡十八名現患七名となり現地出張中の加藤技佐懸命の努力にもかゝはらずどこまで蔓延するや知れず部落民はペスト禍に對し戰々競々としてゐる

尙八月三十一日現在ペスト患者は遂に百名を突破し百七名（內現患三名、他は死亡）の多きに達した

モヒ患店員

日本橋通七十八番地、朝鮮冷麵屋福井和子方店員高木四郎（一九）は本月一日より十八日の間に亘つて得意先六十軒より約五十餘圓を集金橫領しその他客人の所持品を竊取入質してモヒを吸飲してゐたが事件發覺を恐れ三十日南滿方面に高飛びせんとして發車間際を新京署財前刑事に逮捕され橫領事實を自白したが高木は父を內地人に母を半島人に持ちその兩親とも幼くして別れ記憶がなく本籍も判然としないもので寄る邊ない孤獨の身である

中西眞氏赴任

報知新聞社編輯局外報部長に榮轉した前新京支局長中西眞氏は在京新聞通信關係者多數の見送りを受けて卅一日午前十時發はとで赴任の途についた

有夫の女を賣る

惡德紹介業を處分

特別市七馬路藝酌婦紹介業上杉亦市（四〇）は卅一日領警署に於て紹介業取締り規則違反のため二週間の拘留處分に附せられたが

事件は本籍福岡縣田川郡赤村、公主嶺某カフエーに働いてゐた女給眞崎靜惠（二四）が酌婦に身を賣るべく東一條通り紹介業さぬき屋こと藤本テツの紹介によつて五馬路料理店三杉樓に前借八百圓で契約したが靜惠は二人の子に有夫の身であるため、當局の許可とならず藤本は情夫七馬路紹介業上杉に相談を持ちかけ協議の結果京濱線三岔河料亭君の家に前借八百圓で賣り飛ばした、その後安東居住の靜惠の夫眞崎國彥より妻靜惠の搜査願が提出され調査の結果前記有夫の女を夫の承諾なくして紹介したことが判明したものである

尙上杉は他の不正事實の有無につき嚴重取調中であるが、當局に於てはこれ等業者の不正については斷乎たる處分をなす方針である

滿鐵醫院臨休

一日は關東局始政記念日につき滿鐵新京醫院は臨時休業する

再映週間 けふからの銀座キネマ

銀座キネマ卅一日よりの番組は左の如く新興二番線にフオックス「子供の世界」を續映した三本立編成である▽新興京都「哀艶人情双六」尾上榮五郎と高山廣子の主演する映畫で土肥正幹の監督作品である、深崎桃太のシナリオにより義賊稲葉小僧新助がふと旅の宿でめぐり逢つた幼馴染みの女お松との交情を主軸、捕手相手の新助の活躍が綴られる、原聖四郎、荒木忍、東良之助等助演▽同大泉「お洒落快走」中野實の原作基いて如月敏が脚色、上野眞嗣が監督に當つた作品である、姫宮接子、古川登美、植村謙二郎、大井正夫、岬洋児、野邊かほる、三桝豐等主演、明るい夏の海濱を背景に繰展げられるスピーディな戀物語り▽フオックス「子供の世界」續映

内鮮スターの共演映畫作成

半島の進歩的映畫人によつて組織されてゐる聖峰映畫園はさきに新興大泉鈴木重吉監督と協力して鮮話トーキー〃旅路〃を製作發表今春の映畫界にセンセイションを捲き起したが、その劃期的成功に刺激されて今度は内地の若手スターを加へた眞に内鮮スター競演の劇映畫製作のプランを進め、鈴木監督の愛弟子で〃旅路〃のメガホンを執つた李圭煥監督が中心になつて内地映畫人へ協力を求めて來てゐる從來の關係から推せば早晩新興大泉スターが朝鮮の入江たか子と謳はれた文藝峰を始め鮮達者な半島スター連と一騎打ちの勝負をすることゝならうから頗る興味深い

外國映畫の輸入利限に 配給業者歎願か

大藏省が圓價維持を目標とする輸入統制が、外國映畫にまで影響し、先般來爲替管理第二局が主としてこの方面を擔當して各映畫會社を個別に招致し、懇談の形式で輸入制限を促進せんとしつゝあるが、各社共從來の靜觀の態度を棄てゝ外國映畫配給業者の立場を大藏省に積極的に説明し、外國映畫の日本に於る總收入が年額五百萬圓に過ぎず、然も平均その四十五%は日本内地において消費されつゝある現状、並に洋畫配給關係者、洋畫常設館關係者等の生活の脅威を緩和すべき考慮を求める事となり、何等かの形式で「歎願」を試みる事となる模様で、所謂十社聯盟及びアメリカン・クラブを主體としてこの程具體的協議を行つた

さぼてん

本紙特種「金を送つたのに歸つて來ない」のヒロイン事末子さんは忽然とシゲ坊から姿を消したが▼その後こゝの春美君は來る客ごとに君だらうといはれるので大いにくさつてゐるといふ話▼で御大シゲ坊始め從業員總出動して全然別人なることを證明すべく陳辯これ大いに勉めると、お氣の毒だから仙人掌子もこゝに全然別人なることを證明して置くどうぞ間違はぬ様に▼それからこゝにシマーといふお尻の大きなロシヤ娘が現れた、日本語が露西亞語よりも達者といふからお客さんは不自由せんでも良い風光明眉なザバイカル産▼ロシヤ貴族のなれの果てゞもなく從つて純粋なスラブ族でないことは明らか少々土くさくて東洋的なよさがある

メトロ社の超弩級篇 **大地** ポール・ムニ・ルイス・レーナー主演 近日封切 南都キネマ

雑音

豐劇の第三回名畫大會は二日から八日まで四回に分けて日歐米の作品十一本が揚る、例によつて共通券の便宜があり、この度びは歐洲ものが多いせいか氣品のあるプロが出來た▼要するに努力である、選擇さへあやまらず蒐集に熱意が傾けられるなら支持は大きくあらゆる角度から向けられて來るであらう▼銀キネは各館より一足お先きにけふから寫眞替り、豐劇を除いて帝都、長春座、新キネ、朝日座はあすから九月第一週のプロに入る

外人部隊

▽佛レ・フイルム映畫、ジヤツク・フエデエの代表的作品でシヤルル・スパークと共同してシナリオしたマリー・ベル、ピエール・リシヤール・ウイルム、フランソワーズ・ロゼエ等優れた演技の持主を配して、フエデエの人間觀と作家的特質とが色濃く出てゐる點で記憶される作品であつた、戀を失つて自ら外人部隊に逃避して傷手を忘れやうとする青年の前に、かつての戀人と容貌瓜二つの女が登場した、青年はその女に心惹かれたのであるが、然し人間がその對象に求める愛憎好惡の問題は、それに徹し切れば徹し切る程そこから生れる悲劇の相貌は深刻化し「ゆくもの」である、第二の女を捨て外人部隊と共に求めて死地に行く青年の姿にその現實の一例をみるのである、氣品と複雑な奥行きを有つた名作 豐樂劇場二日から

九星

九月一日 舊七月廿七日 水曜 辛卯 先負 危 壁宿

●一白の人 新規計畫は至極適當にて前途有望なる吉日 甲と乙と丁が吉
●二黒の人 智能を顧みず望のみ大にして失策を見る日 丙と庚と癸が吉
●三碧の人 危期身に迫るを以て輕卒に行動すべからず 甲と乙と辛が吉
●四緑の人 柔能く剛を制する、長上賢者の意見を重用せよ 甲と乙と丁が吉
●五黄の人 口先のみにて實行の伴はざる不誠意は嚴戒 庚と壬と癸が吉
●六白の人 獨態を維持すれば安全を保つ病厄盗難注意 丁と壬と丑が吉
●七赤の人 氣運揚らず萬事失敗に歸し窮乏甚しからん 乙と癸と寅が吉
●八白の人 誘惑に陷りて意外の災禍を招くべき危險日 丙と申と庚が吉
●九紫の人 運氣に不足は無きも勢に任せば躓きを生ず 丁と申と辛が吉

北支經濟の開發に 東拓積極的進出
現在の投資は約一千四百万圓

二十三日午後二時本社に於て東拓定時株主總會を開催十二年度上半期營業書報告承認、利益金處分(五分配)の二件を可決滿洲及び北支に於ける上期貸付狀況に關して滿洲國一般經濟界は一段と活況を呈し市街地經營資金、工業資金等の需要著るしく增加せるため回收順調なりしに拘らず本期末貸付高は三千四百七十七萬一千餘圓に上り前期末に比し五百萬四千餘圓の增加を示した、我北支進出に依る一般經濟界の多角的發展に伴なひ各種事業資金の需要漸增し貸付金は前期末に比し百五十八萬一千餘圓の增加を示してゐる、尚同社安川總裁は對北支投資に付き次の如く述べてゐる

天津青島を中心として當社(東拓)の對支投資は約一千四百萬圓に上つてゐるがうち天津に於ける紡績事業青島に於ける不動產擔保貸付はその主なるものであるこれは皇軍の時宜を得たる處置に依り現在の所何等被害を受けて居らぬ元來北支は經濟的開發の可能性は多分にあり燃料其他の原料は割安に得られるもの多く又低廉豐富なる勞働力にも惠まれ工業發展性に富む土地柄である故皇軍の威力に依り速に禍根の一掃を見日支間の提携が期待し得るに至れば必ずや東拓の積極的活動を必要とする時機の到來することを確信する

問題は滿鐵及び滿洲國諸機關の協力により着々數字的調査によつて事態を正確に記錄しつつあるが本年に入つて調査の結果は愈よ具體化の段階に到達した模樣で就中東邊道方面の開發工作は著しいテンポで進みつゝあるものと見られる、これに對し資源開發の第一工作たる試錐(ボーリング)

ソ聯五ケ年計畫 重工業振はず
計畫期の最後に至り破綻

本年を以て終了する豫定のソ聯の第二次五ケ年計畫は最後のゴールに向つて進みつゝあるが今年に入つて以來俄然國民經濟の重要部門に於いて狀態は著しく惡化し昨年同期に化して重工業、輕工業とも重要部門の生產額は大なる減產を示してゐる、即ち本年上半期の重工業實績を見るに石炭石油、銑鐵等は何れも昨年の實績に遙かに及ばず、從つてこれらの原料の供給を受けてゐる各產業部門は著しく生產を阻害され一樣に生產計畫の混亂を來してゐる、尤も重工業部門に於いても成績良好なものが若干あり、重工業人民委員部機關紙の報道によれば輕工業機械類の生產は五倍、ターボ發動機は二、五倍、合成ゴムは一、八三倍、貨物自動車一、六五倍等何れも本年上半期生產は昨年同期に比して增大してゐるがその他の大部分は全部低下した、これが原因は依然として國民の敵の阻害行爲が清算されず、最近に於いては化學工業、石炭業製鐵業、有色金屬工業等に新たなる阻害者の巢が發見されたことにある、ソ聯國民經濟の重大な危機とも見るべき本年度生產計畫の齟齬、金產實績の低下はスタハーノフ運動以後に於ける國民生活の不安を如實に反映してゐるものであるが一方第二次五ケ年計畫の杜撰なる計畫にもより第二次計畫は最後に至つて破綻に瀕せんとしてゐる

ボーリング 機械需要激增
滿洲に於ける重工業資源開發

は隨所に行はれつゝあり用機(ボーリング機を中心とする一切の附屬品)の需要は最近驚異の額に上り始めた、即ち本年初頭以來東邊道、阜新、西安、鞍山、撫順などのボーリング用機の需要は百萬圓に近く目下引合中のものだけでも二十萬圓に達してゐる、これに對する納入先は日本メーカーとしては利根ボーリング外國メーカーとしてはスエーデンクレリウスで前者は瀛昌公司、後者は泰東洋行が代理して事毎に鎬を削つてゐるが納期、値段の關係で多く前者に軍配が擧つてゐる模樣であり、この所同所の活動は目覺しいものがある

國內セメント需要 本年度分調査

滿洲國內における本年度セメント需要は曩に在滿各工場間に七十萬瓲の生產協定を行ふほか內地聯合會と出荷協定を行つたが、需要最盛期を過ぎた八月十日現在の實需は六十餘萬キロトンで當初の豫想より十萬キロトンの減少を示してゐる、然して曲折を傳へられてゐる在滿工場の生產並びに販賣統制は九月初旬何等かの決定を見ることになつてゐるがセメント協會調査による割當合計六十四萬瓲のうち四萬瓲は未だ出荷してゐないため年內需要は六十五萬瓲前後で八月十日現在の割當は左の如くである

	奉天	新京	大連	計
△周水子(小野田)	三、一二四	七八三	八二、五八四	八六、四九一
▲鞍山(同)	九二、〇〇九	一、二一九	—	九三、二二八
▲泉頭(同)	六、八七一	六八、四九九	—	七五、三七〇
▲滿洲	五三、八三六	四、一一七	一、〇〇〇	五八、九五三
▲本溪湖	七一、〇三八	一〇、三九二	二〇八	八一、六三八
▲撫順	七九、九一二	二、七三五	—	八二、六四七
▲大同(淺野)	—	八〇、八一五	—	八〇、八一五
▲ハルビン	—	五三、四四八	—	五三、四四八
▲古茂山(小野田)	—	二四、八六四	—	二四、八六四
▲聯合會	五〇	二、五三三	九、三七〇	一一、九五三
▲計	三〇五、八〇九	二四九、四九八	九三、一七二	六四八、四七九

佳木斯下流の特產 殆ど哈市に輸送
―新線の開通も影響薄?―

圖佳線完成の松花江航運に及ぼす影響は現在迄の處では營業開始以來日も淺く貨物の流動狀況も本格的軌道に乘つて居ないため確定的な將來性並に影響は分明しないが既に佳木斯附近產出大豆の北鮮出廻りは既に明白にされて居り其他の貨物並に地域が如何なる程度北鮮滿の商圈內に編入されるかは今後に殘された大きな問題である

鐵道の完成が松花江下流地方產業の開發を促進すると同時にその物資を吸收し去り新な流通市場を形成するは當然であるこの間にあつて松花江航運が如何に適應して行くかは哈市經濟界にその大きな影響を及ぼす可く各方面より注目されて居る從來佳木斯に於ける貨物輸送量は發送約五萬瓲到着約二萬瓲にして發送貨物は九割迄哈爾濱向けの穀物下到着貨物にあつても之又九割迄哈爾濱到着貨物並に哈爾濱積各地同雜貨を前年同期に比して見ると、大豆に於ては哈市三姓間輸出の數量は前年と大差無く三姓及三姓―佳木斯間仕出しのものは稍減少を見せ佳木斯積出しものは絕對的減退振りを示して居る、之に反して佳木斯、富錦間及富錦積出のものは著しく增加を見せて居る、而して結局合計に於ては上半期に於て前年度に比し八萬瓲の減少となつて居る

岸最大の市場の一たる佳木斯は全く哈爾濱を離れて考察し得ない地位にあつた然るに本年度に於ける貨物輸送數量を見るに圖佳線全通に伴ふ影響の一部を推察すると開江以來六月末迄の出地別哈爾濱到着貨物並に哈爾濱積各

佳木斯下流の各埠頭特に富錦地方出廻りの大豆小麥は全然佳木斯に陸揚げせられず總て哈爾濱に向けられる原因は左の如くである

一、從來よりの取引慣習上哈爾濱向けを有利とする

二、哈市が大消費地である事

三、圖佳線が六月末まで假營業なりし爲運賃の高率、運送の不確實、船車連絡の不圓滑等の爲

四、發着諸掛り特に佳木斯陸揚諸掛りが哈市に比し高率なる事

朝鮮でも時局に對應 綜合機關設置か

時局の急轉的重大化は全日本を戰時體制下に置き政府は全日本の產業經濟を戰時體制に統合せしむべく臨時行政廳の設置を企圖しこれが立案に着手して居るが朝鮮總督府としても前線に於ける第一兵站部たるべき朝鮮の產業經濟の重要性に鑑み中央に順應し朝鮮に於ける金融、船舶管理、貿易、輸送、工業、消費など產業經濟の全部門を綜合する强力なる臨時行政機關新設論が擡頭し愼重協議を進めてゐるこれは總督府殖產、農林兩局を中軸とし鐵道、遞信、內務警務各關係事務及び資源調査と國家總動員事務を一括して急迫せる事態に備へんとするものでありその成行は注目される

爲替協定の 實施細目案成る

【東京國通】曩に成立をみた爲替協定の實施細目に關し廿七日爲替業務取扱銀行の實務者間において協議の結果、大體各行入電の米英クロス・レートは打電時期により相違があるのでこれを午後の引相場に統一しかつ同相場を基準として對米電信爲替賣り相場を定め、これに十六分の一乃至八分の一のマージンをつけて買相場となし合理的に對米相場を決定する、この曖端數が出た場合は四捨五入計算とすることに意見一致したので細目協定案を作成し、大藏省に報告承認を求め一兩日中に實行に移すものとみられる

惡材料出盡した 最近の綿業界

事變勃發前の七月一日と最近の安値を比較すれば鐘紡は二百七十九圓から百九十八圓七へと二割八分八厘、東紡は二百六圓二から百五十八圓六へと二割三分一厘の大暴落を演じ、頭除の紡績株も一齊に悲觀されたが、此の間、餘りに突込み過ぎた關係もあつて青島方面に於ける戰雲緩和の兆候を眺めて、相場は一應の底入模樣を示すに至つた。斯る紡績株悲觀人氣の醸成された原因は原棉相場の暴落、綿布輸出の量的減少、在支紡績の戰禍經濟統制の壓迫等にある。

×

原棉事情を概觀するに昨年下半期の伊エ紛爭、西班牙內亂を繞つて世界經濟體制は戰時化して物價の騰勢著しく、原棉相場も連れて硬化し、越年と共に現物は一時的ながら十五仙の高値を唱へたが、大體に於て五月迄は十三仙臺を堅持した。然るに民間の新棉豫想が一般に弱氣的であつたゝめ相場も軟轉し、米棉收穫千五百六十萬俵と前年比較三百萬俵の增收が見越されるに及び、相場は急角度に崩落して遂に十仙臺を割るに至つた。

×

原棉問題に特殊の影響を齎したのは爲替管理の强化であつて、原料の先行手當難が憂慮され、此の悲觀思惑も手傳つて上半期の棉花輸入高は記錄的の巨量に達し、紡績會社の手持高は常態に二倍する六ケ月分を算すと傳へられる。棉花本國相場は米國政府の救濟融資と相俟つて十仙臺が底値視されてゐるが、夫れにしても手持原棉値で損平均は二割五分內外と押へられ、並々ならぬ打撃である。

×

輸入爲替統制に基く原棉手當難見越人氣は內地綿價の割高となり棉花の割高は製品價格の割高となつて尠からず輸出商談の成立を障害し、遂に綿布輸出數量の減少を結論した。斯くして輸出減少は綿絲布在荷の增積となつて市場を壓迫したことはいふ迄もない。從つて北支事變の勃發に基づく對支輸出の減少は過大に評價され原棉相場の崩落と相俟つて綿絲布相場の慘落となつたが、この表品相場の暴落に依り先物約定品の受渡が果して圓滑に行はれるか何うか紡績會社は既に十二月物迄賣つてゐるので悲觀材料の一に數へられた。

×

我在支紡績施設は上海百三十五萬錘青島五十二萬錘其他合計百九十萬錘で內地施設の一割七分に該當し、本年上半期は支那農產物の豐作其他に惠まれて好成績を擧げたが、事變の勃發によつて操業不能に陷つたのみならず戰禍を被つて工場施設が尠からず、破壞された。被害狀態は未詳であるが、若し全損とするならば上海のみで二億圓、更に青島も同樣の運命に陷るものとせば、兩者を通じて二億八千萬圓內外の損害と推算され、親會社の打撃は深刻なるものがある。

×

前記の如く手持原料値下損、在支工場の積極及消極的損失の莫大な額に達するのに、戰時經濟體制の實施に基き積極的な活動をすることが許されなくなつたため、茲に紡績悲觀人氣の昂揚となつて株價の慘落となつた譯である。然しながら今回の製品相場暴落によつて割高現象は左表に見る如く解消したので、輸出商談復活の途が開かれ、また在支工場閉鎖による內地製品の代替輸出も期待し得られるので紡績界に取りては惡材料は一應出盡したのではあるまいかと見られてゐる(單位圓)

	當限	先限	採算
本年 九月一日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月二十四日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
前年 九月一日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月二十四日	[illegible]	[illegible]	[illegible]

商況欄 (九月三十一日前場)

海外經濟電報

倫敦金塊 七磅〇志一片〇〇〇
紐育金塊 三五弗〇〇〇

▲紐育銀塊 四四仙四分三
倫敦銀塊 一九片八分三
同先限 一九片八分三
紐育銀塊 五〇留比六分一
スチール株 一一〇弗八分三
アナゴンダ株 五五弗四分三

▲市俄古小麥
九月限 一弗〇四仙四分一
十二月限 一弗〇六仙八分一
一月限 一弗〇九仙〇〇

▲紐育棉花
現物 九仙五二
十月限 九仙三二
十二月限 九仙三三
一月限 九仙三八
三月限 九仙四六
五月限 九仙五四
七月限 九仙六二

▲印棉
ブローチ 一九〇留比
オームラ 一七二留比
ベンゴール 一四四留比

▲カルカツタ麻袋
青筋 二四留比一六分三
鐵筋 二二留比八分三

▲外國爲替
英米爲替 四弗九六仙九〇
日米爲替 二九弗〇二仙
米支爲替 三〇弗一五仙
日英爲替 一志二片〇〇分一
米支爲替 一志二片八分五
日印爲替 七七留比二分一

▲滿洲中銀爲替
上海向 九五弗五〇仙
天津向 九五弗五〇仙
紐育向 二九弗〇〇
倫敦向 一志二片

各地株式市況

▲東京株式(短期) 寄付 大引

▲大阪株式(短期)

銘柄	寄付	大引
新東	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]

▲大連株式(短期)

銘柄	寄付	大引
大新	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
鐘產	[illegible]	[illegible]
日魯	[illegible]	[illegible]
日	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
日	[illegible]	[illegible]

▲奉天株式(短期)

銘柄	寄付	大引
滿取	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
北炭	[illegible]	[illegible]
日魯	[illegible]	[illegible]
新郵	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
滿毛	[illegible]	[illegible]
優先	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
電甲	[illegible]	[illegible]
同乙	[illegible]	[illegible]
東拓	[illegible]	[illegible]
瓦斯	[illegible]	[illegible]
電業	[illegible]	[illegible]
化學	[illegible]	[illegible]

各地特產市況

▲新京 現物寄引(一石値段)出來高
大豆、高粱、米・高、小豆、玉蜀黍 [illegible]

▲大連
大豆 先物 八月限、九月限、十月限、十一月限 [illegible]
高粱 八月限、九月限 [illegible]
豆 袋入 八月限、九月限、十月限、十一月限、十二月限、三月限 [illegible]
豆粕 現物、九月限、十月限、十一月限、十二月限、一月限 [illegible]
豆油 現物、九月限、十月限、十一月限、十二月限 [illegible]

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話（編輯局專用）三三三〇五
發行人 十河榮忠
編輯人 杉本勇
印刷人 水越内之介

我海軍機廣東を襲ひ 飛行場、重砲工場爆擊

【香港卅一日發國通】卅一日朝わが海軍機の廣東爆擊において廣東飛行場ならびに重砲製造工場を爆擊し多大の損害を與へて無事歸還した

【上海卅一日發國通至急報】卅一日午後八時廿分第三艦隊報道班發表＝卅一日朝わが海軍航空隊は大擧して福建省漳州建甌飛行場、廣東韶關、白雲、天河飛行場を空襲し、韶關においては格納庫及び兵器製作所、白雲においては格納庫三、天河においては大火藥庫を爆破せしめた、なほ廣東上空においてはわが空軍を邀擊せんとせる敵戰鬪機三機を夫々爆擊し、建甌においては戰鬪機三機を擊退した、われに全然損害なし

【香港卅一日發國通】三十一日午前十時四十分わが飛行機は再度廣東爆擊を敢行し、目下盛んに爆擊を繼續中

廣東軍の戰時編成

【香港卅一日發國通】廣東省防衛の全權を委ねられた第四路軍總司令余漢謀は廣東軍を戰時編成すべく卅日左の如く決定した

一、福建省廈門、漳州區指揮官李振球（第六十五軍長）百五十七師、百五十八師、飛行一ヶ中隊、高射砲隊一ヶ中隊
二、汕頭、潮陽區指揮官李漢魂（第六十九軍長）百五十五師、五十六師、飛行一ヶ中隊、高射砲隊一ヶ中隊
三、廣東、增城、惠陽區指揮官張達（第六十二軍長）百五十一師、百五十二師、飛行二ヶ中隊、ほかに廣西軍の飛行二ヶ中隊を加ふ、高射砲隊二ヶ中隊
四、五華、紫金區指揮官葉肇（第六十六軍長）百五十九師、百六十師
五、赤磡、臺山區指揮官張瑞貴（第六十四軍長）百五十三師、百五十四師
海軍方面は偵察、戰鬪、商船保護の三艦隊を作り目下主力を軍需品輸送の船舶保護に注いでゐる

陸海空から猛擊吳淞を占據

【上海卅一日發國通】第三艦隊報道班午前十一時卅分發表

一、陸戰隊は昨夕閘北の東方地區に蟠居する敵軍を砲擊これに徹底的痛擊を與へたが、敵は昨夜半南方わが陣地に對し突如射擊を行ふと同時に數回の逆襲を企てたるもわが部隊は應戰よくこれを瞬時にして擊退し租界線を確保しあり、わが損傷輕微なり
一、今朝吳淞方面陸軍の戰局進展に伴ひ海軍航空部隊及び江上艦艇はこれと協力目下敵軍に猛烈なる砲擊、爆擊を加へつゝあり

【上海卅一日發國通】わが〇〇方面の陸軍は卅日後續部隊の精鋭を加へ士氣益々旺盛、卅日夜行動を開始中であるが、卅一日朝わが〇〇精鋭部隊は〇〇江岸に敵前上陸を敢行し頑强に抵抗しつゝある〇〇鎭の敵陣地に向け一齊に總攻擊を開始、白兵戰を展開し十一時頃遂にこれを占領し上海事變以來再び日章旗は高く揭げられた、敵の遺棄死體は一千を數へ激戰を物語つてゐる

【上海卅一日發國通】卅一日午後一時頃〇〇を占據した我軍は陸海空軍共同作戰のもとに黃浦江下流の敵の要害たる吳淞砲台も占據した

湯淺部隊出動

【〇〇山麓にて卅日發國通】〇〇山麓にある湯淺部隊の一部は殘敵掃蕩のため卅日拂曉〇〇方面に出動した

楊樹浦の敵 空爆を恐れ堡壘に潛む

【上海卅一日發國通】東部楊樹浦方面の敵はわが飛行機の爆擊をおそれわが陣地より一千メートル乃至五千メートル前方の堅固なる堡壘に潛んで姿を見せず、市政府東北方後方は大火災を起し目下延燒中
卅一日拂曉四時敵機三機空襲わが東部戰線を目がけて爆彈六箇を投下したが損害なし

曉の挺身機關銃隊 中島部隊殊勳

【上海卅一日發國通】卅日拂曉陸軍〇〇隊左翼最前線中島部隊長の指揮する曉の挺身機關銃隊は、わが步兵部隊の前進を容易ならしめるため〇〇附近より行動を開始し、敵陣地より擊ち出す迫擊砲の十字火を浴びつゝ機銃を兩手に高くあげて〇〇クリークを渡渉敵陣地に猛射を加へ二百餘名を殲滅し殊勳をたてたが中島部隊は半數の死傷者を出し、中島部隊長も肺部に重傷を負ふた

我空軍の威力
（上）快翔する我〇〇機（下）南京火藥廠爆擊

青島居留官民 四日御用船で引揚げ

【青島卅一日發國通】青島總領事館引揚に關する本省からの訓令は卅日夜到着、大鷹總領事以下領事館警察署員全員ならびに新聞通信記者その他少數殘留居留民を全部引揚げしむることに決定、大鷹總領事以下館員等は九月四日出帆の御用船で門司經由東京に引揚げ警察署員は全部天津に派遣されることゝなつた

殘留居留民六百名大連へ

【青島卅一日發國通】青島殘留居留民六百名は卅一日出帆の大連丸で思出懷しい青島に袂別を告げ一路大連に向つた

青島特務機關員大連へ引揚

【青島卅一日發國通】特務機關は九月二日閉鎖、谷荻中佐以下機關員全部二日青島丸で大連へ引揚げることゝなつた、なほ〇〇に榮轉した谷荻中佐は大連、新京に數日間滯在の後天津に向ふ筈

沈青島市長 財產保護聲明

【東京國通】青島在留邦人總引揚後における邦人の私有財產に關し支那側に責任をもつて保護を誓約せしめる要あるため、大鷹總領事より沈鴻烈市長に對し明確なる回答を要求したところ、三十日左の如き公文回答をなして來た旨三十一日外務省に公電があつた
日本人の生命財產權益は當然力を盡して保護に當るべく本市政府は左の通り聲明す
一、紡績工場その他の工場、公共機關、公人住宅等の財產は夫々當該係官において封印をなす、しかれども財產の內部はこれを點檢しないから外部よりの保護および治安の維持に當るべし
二、風雨またはその他の原因による封印用紙の毀損に對しては責任を負ひ難し
三、天變、地變等不可抗力または日本軍の青島またはその附近攻擊により兩國間に軍事行動が發生する等の理由とよつて總ての財產の受けたる損害に對しては何等責任を負はず

對滿事務局辭令

【東京國通】對滿事務局辭令三十一日附
關東海務局技手　眞榮平房夫
任關東海務局技師（七等）
公立盲啞學校教授兼舍監　西原正則
任大連盲啞學校長

支那敗殘兵 佛修道院襲擊

【北平卅一日發國通至急報】北平郊外萬壽山々麓黑山扈村フランス修道院を襲擊した支那敗殘兵は宣教師十三名中一名を傷つけ病臥中の二名と計三名を殘して十名を人質として拉致し引揚げた、卅日夕急報に接したわが〇〇部隊はフランス大使館員とゝもに現地に向け目下追擊中であるが、卅一日朝フランス大使館より更に書記官三名が現地に向つた、なほ同修道院附屬師範學校支那人生徒五十名は卅日夕刻日本軍の手で救出され北平に無事收容された
…たるニューヨーク・タイムス記者ピリンガム氏は負傷に對する賠償を支那政府に要求する意向と傳へられてゐる

抗日斷乎膺懲 首相、臨時議會で强調

【東京國通】首相は臨時議會でなす演說で帝國としては支那民衆を敵とするものに非ざるも抗日を背景として立つ南京政府および背後の軍閥は斷乎膺懲して反省を求めざるを得ない旨の決意を强調する方針である

ソ支間に密約成立か 支那、ソ聯の援助の代償に外蒙新疆の主權放棄

卅一日滿洲國外務局に達した某方面よりの情報によると、ソ支不侵略條約と同時に密約が成立したものゝ如くであるが、其密約によるとソ聯は兵器供給を含む對支援助を約し支那は其代償として外蒙古及び新疆におけるソ聯の政治的支配權を正式に承認したものと見られる、しかして右は實質的には支那が外蒙古と新疆との主權を放棄し聯ソ容共政策實現のため支那領土を犧牲にしたものとしてその成行は注目されてゐる

蔣、遂に弱音をあぐ 國際干涉要望を說く

【南京卅一日發國通】蔣介石は三十日ロイテル通信員との會見において今回の日支事變に際し、國際干涉を要望する旨を縷々强調した

先施公司投爆彈

【東京國通】卅一日某所着電によれば、過般先施公司に落下した爆彈は某國海軍の調査の結果イタリー製のものと判明した、右爆彈により負傷し…

宋哲元 再擧を目論む

【天津卅一日發國通】最近津浦線で當地に歸つたドイツ人の語るところによれば、元第廿九軍長宋哲元は其後南京に赴き、軍事報告をなし尙今後の處置につき指示を請ふところあつたが、南京政府方面では敗軍の責任者としてこれを冷遇し相手にするものなきに憤慨し目下滄州に在りて舊部下軍隊を糾合、日本軍と一戰を交へ名譽を恢復せんと計畫してゐる樣である、第廿九軍部下は平津方面で散々に日本軍の精鋭に粉碎せられた苦い經驗を有するので、兵は何れも士氣沮喪して攻擊精神乏しく一度日本軍の猛攻に遭へば戰はずして敗走すべく、結局宋は恥の上塗りをなすに過ぎぬ結果となるものとみられる

"自國船爆擊のため飛行機を供給" フ號事件に對し米紙皮肉る

【ニューヨーク卅日發國通】支那軍飛行機のフーヴア號爆擊事件は米國各新聞に大々的に報道されたが、何れも最近打ち續く支那軍の暴狀ならびに支那飛行隊の未熟振りにあきれてゐる、ニューヨークポスト紙は二十九日の夕刊に「米國製の支那飛行機米國船を爆擊す」といふ一面の大見出を揭げて皮肉たつぷりに報道してゐる

中井部隊 王口鎭の敵を攻擊

【天津卅一日發國通】わが飛行隊は三十日午後滄州および王口鎭を爆擊したが、三十一日朝中井部隊は右王口鎭になほ蟠居せる敵を攻擊してゐる

十川部隊 追擊戰を開始

【〇〇山麓にて卅日發國通】長城以南の支那軍を擊破二十九日〇〇を占領した十川部隊の前線部隊は卅日拂曉殘敵を追擊〇〇方面に進擊した

于大臣赴奉

治安部大臣于芷山上將は三十一日午後二時十分發あじあで赴奉した

我部隊羅店鎭に入城 山室部隊强襲に敵陣敗退

【山室部隊戰線にて國通特派員卅一日發】廿七日夜半以來前線の敵に猛烈な攻擊を開始した山室部隊は息つく間もなく廿八日午後五時半折柄の豪雨を衝き膝を沒する泥濘をものともせずさらに前進を續け、天地を搖かす殷々たる〇〇部隊の砲擊の中を各部隊は皇軍獨特の猛攻を續け、一時間半にして早くも羅店鎭を堂々占領した、この戰鬪における敵の戰鬪法は從前に比し侮り難いものがあつたが、勇敢なる皇軍は長攻十二時間にわたる激戰に逞ましい戰鬪力を發揮し、前線の敵を完全に掃蕩したものである

敵主力を前面に邀擊 總攻擊加へて一擧堅壘拔く

【上海卅一日發國通】敵地上陸以來犧牲をものともせず早くも羅店鎭の堅壘を拔いたわが〇〇部隊奮戰詳報は左の如くである

一、廿八日午後九時半＝昨夜半より果敢なる攻擊前進を續けた山室部隊の左先陣を承る和知部隊長の率ゐる〇〇部隊は中央軍第五十五、第五十六兩師の主力を前面に邀擊、突進また突進、眞に我皇軍の眞面目を發揮、和知部隊長は軍刀の鞘を拂ひ自ら陣頭に立ち敵陣地に躍り込み奮戰亂鬪肉彈相搏つ壯烈なる突擊戰を演じ、遂に午後三時過ぎさしも頑强な敵も一たまりもなく潰走、わが部隊は堂々羅店鎭に入城したのである、和知〇隊は殘敵を掃蕩、山室部隊の進出を容易ならしめ更に右翼とゝもに攻勢前進、午後九時に至るも殷々たる砲擊は山野にこだまし悽慘の氣漲つてゐる、この戰鬪で同部隊は相當の死傷者を出したるも士氣頗る旺んにして潰走する敵を追擊中である
二、山室部隊の總攻擊を掩護すべきわが海軍〇〇機〇〇臺は廿八日午前六時から午前中四國の敵全部にわたり爆擊を行ひ多大の損害を與へたがわが方の損害僅少なるに對して敵の死傷は多數に上るものと觀られてゐる
三、山室部隊の猛攻擊に敗退したこの方面の敵の一部は廿四日朝來後方陣地攪亂をはかり各所に出沒する敗殘兵により大朝、大每特派員一行は羅店鎭西方において襲擊を受け危くわが軍に救助された、また凡そ五十名の敗殘兵は二十八日拂曉密かに羅店鎭の長山〇〇隊寄襲を試みたが、逸早く發見され、瞬く間に擊退された

猛射潛り敵前渡河 黃浦江重要地點に突入

【上海卅一日發國通】卅一日午前十時五十分〇〇部隊は江上よりする艦砲ならびに陸上部隊の砲擊掩護下に敵の猛射をくゞりつゝ敵前渡河を決行して黃浦江最重要地點に突入、時餘にわたる白兵戰の後敵を東北に壓迫目下攻擊前進中

國民兵强制徵募 支那人適齡者大恐慌

【上海卅一日發國通】南京政府は卅日附をもつて國民兵徵集令を發布し、滿十八歲以上の男子に對し兵役を負はしめ、主管機關は隨時に國民兵を徵集し得ることを決定し交戰以來軍政機關が大童となつて新兵を募集してゐるが、國民のこれに應ずるもの尠くために法令をもつて强制的に徵集することとなつたので兵役適齡の支那人間に大恐慌を來してゐる

廣瀨電々總裁

廣瀨電々總裁は三十一日午後六時三十五分着あじあで大連から歸京した

河本理事長歸京

河本滿炭理事長は三十一日午後六時三十五分着（延着）あじあで大連から歸京した

大石、大西兩氏歸京

全滿記者聯盟代表北支皇軍慰問一行中の大石大同報主幹、大西國通編輯局次長の兩氏は三十一日午後六時三十五分着あじあで歸京した

社說

日獨戰以來粒々辛苦第一線に活動し國威の伸暢に努めて來た山東居住の我同胞は血涙を吞んで內地に引揚げた▼山東に於ける我が投資額は紡績一億三千萬圓、青島に於ける其他の工業千五百萬圓▼土地は官有地百四十萬坪、私有地九萬五千坪でその價格九千萬圓、建築物千二百萬圓▼この他に濟南及び膠濟鐵路沿線の諸工業三千五百萬圓▼合計約三億圓、なほほかに膠濟線の借款四千萬圓がある▼更に山東に於ける我權益は山東不割讓の取極め、山東省內諸都市の開放商埠、濟順兩線の借款優先權▼膠濟鐵路、邦人の青島市政參與權、和文電報の取扱ひ、青島鹽の輸出權、わが國保有不動產には總領事館と館員宿舍▼居留民團、學校、神社、忠魂碑、墓地、葬場、科學試驗所の建物および土地が保有してゐる▼以上の投資と權益とに悲壯なるものがある▼青島神社の神官が御神體をしかと抱き奉りて引揚げたる樣は正に悲痛である、かゝる情景は廈門に廣東に福州に到るところ見せられてゐる▼我々はこの避難同胞に對し隣人愛の溫い手を差し伸べることを忘れてはならぬ

社説　抗日人民戰線の矛盾

一

今次事變の本質は、簡明に表現すれば、全支那に澎湃として漲つて來た抗日人民戰線運動と我が國の大陸政策との衝突である。抗日人民戰線の本體について、またそれが現實の支那の事情に照してそれ自體に包藏してゐる矛盾について明瞭な觀察を持つことがこの際肝要である。

二

いふまでもなく抗日人民戰線は共產黨のイニシアテイヴによつてつくられた。支那共產黨はこの新戰術を一昨年夏のコミンテルン第七回大會の決議に基いて採用した。それは本質に於いて、コミンテルンの古くからの統一戰線の戰術と變りないものである。コミンテルンが統一戰線戰術を採る場合には特別の條件が存した。その條件とは、共產黨よりも强大な黨が對立してゐること、且つその黨と共產黨とは共同の敵を持ち得ること、そしてこの共同の敵に對する鬪爭を通じて統一戰線に協同した他黨の勢力に侵蝕すること〻がこれである。抗日人民戰線を提唱した頃の支那共產黨は江西省を棄てて支那の西北地方に移動したあとの苦境時代にあつた。そこで自黨よりも强大な國民黨の支配下にある大衆を獲得する手段として共同鬪爭目標として日本を選んだのである。終局目的は國民黨の下にある大衆を自己の側に獲得することにあるのがすでに共同戰線の第一の矛盾である。更にいはゆる反帝國主義運動を叫ばずして抗日を目標としたことが矛盾でなければならぬ。彼等が抗日達成の方法として普通選擧に基く統一的民主人民共和國を主張し抗日人民戰線に於ける無產階級の指導の必要を力說し、共產黨の獨立性とその批評の自由確保を主張せる如き、その目的を明示するものに外ならぬ。戰線が一定の段階にまで擴大した時、國民黨指導者の不徹底を批判しこれに取つて代らうとするのは當然の計畫である。

三

反帝一般の代りに抗日のみを持つて來たことは、彼等の常套手段たる敵の矛盾對立を利用する戰術であるが、現代の國民黨と提携するためにも當然必要であつた限界である。何故かならば、現在の國民黨は英國や米國等と密接な關係を持つてゐる。この動かし難い事實こそが、反帝の代りに抗日を表面に出さしめてゐるのである。だが、共產黨と國民黨との提携が一定の段階に達して破れるとき、この限界もともに破られるであらう。列國は果してこのことについて適確な見透しを持つてゐるのであるか。事變に對して列國がその態度を定めやうとする場合深く考慮すべき問題であるのだが、この點どれだけの認識を持つてゐるか、依然疑はしいやうである。

私設鐵道補助法 九月二日附公布

三十一日參議府を通過し　總額二百萬圓補助

滿洲國に於ける私設鐵道助成のため交通部では豫て私設鐵道補助法を立案審議中であつたが、愈よ法制處、國務院會議を經て三十一日參議府會議を通過したので御裁可を得て愈よ九月二日公布される運びとなつた

滿洲國の現在私鐵は三百粁に過ぎず產業五ヶ年計畫の實施に伴ふ諸產業の勃興及び移民事業の進捗は交通機關の整備充實を必要とし且建國以來急速なる建設をみた國鐵幹線の培養線として私鐵の敷設が要望されてゐる折柄、私設鐵道補助法の制定は私設鐵道建設に一段の拍車がかけられるものと期待されてゐる、なほ同法要項は左の如きもので所要鐵道經營資金に年六分（開業前に年四分）の補助金をなすが補助金總額二百萬圓に依つて約三千五百萬圓の資金誘致をなし得るわけである

私設鐵道補助要領

一、補助を受くべきものは鐵道經營を目的とする株式會社に限定す但し其兼業及附帶事業は補助の範圍より除外す

二、補助金は當該會社の鐵道經營に要する株式拂込金額に對し開業前は年四分開業後は年六分の限度内に於て之を交付するものとす但し開業後に於ては拂込金額に對し一分の益金留保を認むるものとす

三、建設の用途に供する社債借入金に對しては年四分限度の利息を補助す

四、補助期間は會社設立登記の日より十年以内とす

五、補助すべき私設鐵道の軌間は一米四三五に限定す

六、區間別補助を認め補助期間は鐵道建設の爲の資本金額增加又は拂込資本金額變更登記の日より之を起算することを認むるものとす

七、補助金の總額は年二百萬圓とす

制定に就て　平井出次長談

交通の大宗たる鐵道の普及は國防及統治上は勿論文化の向上、產業の開發上特に緊要なるに鑑み國有鐵道に付ては建國以來急速なる建設を施行し幹線及重要鐵道の完成を圖りつゝあるも一方的線路ょ民間の企業を奬勵し交通機關の整備充實を圖り各般の產業の發展に資する必要あるを認めたのであります併し乍ら鐵道事業は多額の固定資本を要するに拘らず低廉なる運賃に依り運送の提供を要する爲鐵道の敷設に依り沿線地方の產業が開發せられ交通量の增加を來すに相當の年月を必要とするを以て之が相當期間政府に於て助長策を講ずるに非ざれば鐵道の企業を期待し難きことは先進國の實例に徵し明かなるを以て今般「私設鐵道補助法」を制定二日公布實施されるのであります本法の實施に當りては滿鐵に於ても斯業の助長に援助を爲す方針なるが鐵道敷設計畫に付ては政府及滿鐵に於て出來得る限りの便宜を供與すべきに付大方各位も本法の制定に依り企業の達成に援助協力せられんことを切に希望する次第であります

私設鐵道補助法の內容は大體左の通りなるが滿洲國の特殊事情より之を資本に對ずる益金補助の制度を採用し又開業後に於ける補助率を昂上し以て開業を促進せしむると共に私設鐵道の工事着手及開業期限の指定を嚴重になす方針であります

杉局長來社

滿鐵北支事務局長に就任した杉廣三郞、次長石原重高兩氏は三十一日新任挨拶に來社した

滿洲拓植公社創立總會開催

近日中に拓植委員會組織

廿ヶ年五百萬人移民の大方針に從つて移民事業の遂行に當るため舊滿拓を解消して資本金五千萬圓に增資の滿洲拓植公社の設立については廿七日設立委員會を開いて具體的方針を決定、ついで三十日舊滿拓の解散總會を開いたが、卅一日午前十時より日滿軍人會館において創立總會を開催し定款、人事および株式割當を決定、こゝにいよいよ滿拓公社の設立を見た、同公社は當分事務所を康德會館內に置き遠からず特產中央會新舍屋前に社屋を新築する筈であるが公社設立と同時に從來の東京事務所を擴充して支社とし、支社長として理事を駐在せしめることゝなつた（初代支社長に新理事生駒高常氏が就任）なほ近日中に日滿兩國側委員より成る拓植委員會が組織され常時拓植公社の監督に當ると共に隨時委員會を召集して移民に關する諸方針を審議決定する筈である

五ヶ年間入植の年次割當決定　初年度は六千戶

滿洲拓植公社は今後廿ヶ年に五百萬人（百萬戶）の移民遂行に當る筈であるが、まづ最初の五ヶ年には十萬戶の入植をなす豫定で、產業部拓政司と協力してすでに數ヶ所の新移民候補地を決定し、その調査および萬端の準備を進めてゐる、今後五ヶ年における年次入植豫定數は左の如くである

年度	戶數
康德四年	六、〇〇〇戶
同五年	一五、〇〇〇
同六年	二一、〇〇〇
同七年	二八、〇〇〇
同八年	三〇、〇〇〇
計	一〇〇、〇〇〇

委員及隨員發令

滿洲國政府は滿洲拓植委員會の滿洲國側委員ならびに委員隨員を九月一日附をもつて左の如く發令することゝなつた

產業部大臣　呂榮寰
經濟部大臣　韓雲階
總務長官　星野直樹
內務局長官　大津敏男
外務局長官　大橋忠一
產業部拓政司長　森重千夫

滿洲拓植委員會滿洲帝國委員被仰付

滿洲帝國協和會中央本部長　于靜遠

滿洲拓植委員會滿洲帝國臨時委員委囑

總務廳參事官　高倉正
總務廳理事官　原久一郎
內務局理事官　岩津博
產業部理事官　石坂弘
產業部事務官　平川守

產業部事務官　福田一
經濟部理事官　横山龍一

滿洲拓植委員會滿洲帝國委員隨員被仰付

計器公司　三分配當認可

滿洲計器股份有限公司では廿五日新京記念公會堂において第一期株主總會を開き左記利益金處分案（初配三分）を可決、直ちに認可申請の手續きを取つたが卅一日正式に認可された（單位百圓）

當期利益金　五四三
前公司引繼損金　一五
この處分法定積立金　五五
株主配當金　三一二
後期繰越金　一六一

農林次官更迭

【東京國通】農林次官戶田保忠氏は後進に道を開くことを理由として卅日午後有馬農相に辭表を提出し後任は企畫廳次長井野碩哉氏に決定、卅一日の閣議で正式決定する

敵の重要根據地

滄州、小王莊を爆擊　木葉微塵に潰滅

【天津三十一日發國通】三十日わが空軍の精鋭は津浦線における敵の重要な根據地滄州ならびに小王莊の爆擊を敢行した

午後零時半島田、園田、中富各部隊の〇〇機は翼を連ねて滄州に飛び大爆擊を敢行、停車場、兵營その他主要施設を完膚なきまでに破壞、わが空軍の奇襲に周章狼狽施す術もなく大混亂に陷つた敵陣地を尻目にかけながら何等の損害もなく凱歌を奏して根據地に引揚げた、滄州には約二萬の兵が屯してゐたと推せられるが、この爆擊により敵人馬死傷算なくその頼みとする堅固な陣地も木葉微塵に破壞され全く潰滅した、同部隊は更に小王莊に飛びわが地上部隊と交戰中の敵第一線を空襲し敵の掩護機關銃隊を粉碎、徹底的打擊を與へた

本爆擊はわが地上部隊と極めて近距離の地點において行はれ、地上部隊は空軍の正確なる技術に信頼し空陸相呼應して猛擊を加へたもので、かく如く味方の近距離において空爆は空前のことゝいはれてゐる

戰禍に勝る惡疫　上海に猖獗

邦人の衞生狀態は良好　一般は極度に惡化

【上海卅日發國通】事變勃發以來戰線附近は勿論虹口、楊樹浦一帶は支那人衞生人夫逃亡のため各所に塵芥汚物が推積しこれが腐敗して惡臭を放ちをり、しかのみならずこれ等汚物より夥しい蠅の群が發生し第一線に活動の兵士は勿論後方勤務の居留民の衞生狀態は憂ふべきものがある、又租界、舊英租界方面に避難した多數避難民中には歸るになく食ふに糧なき哀れな者多くその衞生狀態も極度に惡化してゐるのみならず南市方面にはコレラ、赤痢等猖獗を極めてをり、わが居留民團は戰禍の後には必ず發生し得べき甚しい害毒を及ぼす事常とするこれ等惡疫豫防に萬全を期するため一般居留民にコレラ、赤痢の無料豫防注射を行ふことゝなつた、しかし第一線將兵及び後方居留民は極度の緊張裡に活動を續けてをり、かく一般衞生狀態の惡化にも拘らず邦人間には現在のところ惡疫の發生は未だなく滿足な狀態を續けてゐる

通州遭難者慰靈祭

【天津發國通】軍人法師大谷光照伯は廿七日午後四時天津商業學校講堂に於ける皇軍將士戰死者、通州遭難者の慰靈祭に導師として出席英靈を弔つた【寫眞は慰靈祭全景】

茅屋に殘つた

老婆二人に皇軍の美擧

【上海卅日發國通】連日暴戾なる支那兵に對し膺懲の矛をとつて北部戰線に痛烈な戰鬪を續けてゐるわが陸戰隊越野部隊の前方廣野に取り殘されたやうな茅屋がある

五十歲と七十歲位の支那人老婆二人が板の間にアンペラを敷いて色々な荷包みとゝもに細々と生活してゐるのが發見されたので、同隊員が調べてみると兩老婆は江灣から避難して來たが、保安隊のため僅かな米まですつかり奪はれ、今は食物もなく今は死を待つばかりの哀れな有樣であることが判つた

鬼をもひしぐわが將士もこの哀れな支那人老婆の姿にすつかり同情し毎日隊員が交る交る自分達の辨當を割いては與へてゐるが、老婆たちは何時までも「先生々々」と隊員達を賴りにし皇軍將士の情けに浴してすつかり元氣づき、時々井戶端に出て洗濯等をして戰場の眞ッ只中とは思へぬ平和な生活を續けながら今更のやうに暴戾な支那軍を呪つてゐる、この二人の老婆に注がれる隊員の麗はしい心は、硝煙彈雨の中に眞に一幅の繪のやうに美しい情景を描き出してゐる

愛機諸共肉彈爆擊

南野大尉の戰死詳報

【東京國通】十六日の蘇州爆擊の際壯烈無比の戰死を遂げた南野安治大尉と原照光兵曹長の殊勳の詳報が卅日〇〇長から海軍省へ報告された

十六日午前江灣鎭方面の敵陣地の爆擊について午後蘇州飛行場偵察爆擊の命を受け勇躍基地を出發した南野機は〇〇機編隊〇〇隊長として原兵曹長操縱南野大尉が偵察者としてこれを指揮し蘇州上空に達するや敵は高角砲、機關銃の猛射を浴せた、しかも指揮官機たる南野機は急降下に移るや敵の一彈は南野機に命中しガソリンに引火した、火瘡磨になつた南野機は屈せず豫定通り急降下を敢行し敵の中に第一彈を投じ續いて燃ゆる愛機をガソリン箱目掛けて驀進し肉彈爆擊を行つたのであるこの投彈動作は火炎に包まれ乍ら急降下中死の寸秒前に第一彈を沈着、且つ正確に投下したもので、その豪膽さは皇軍の卓越せる攻擊精神を遺憾なく發揮したものとして絕讚されてゐる

オリンピック

首相、副島伯語る

【東京國通】オリンピック開催につき首相を訪問せる副島伯は語る

本日總理を訪問したのはワルソーの1.0.C總會に出席の際、觀察した歐米諸國の國際情勢を報告し、オリンピック大會主催國はこれを開催する責任があり、私は時局は永引かぬとの見解を持ち、それに基いて是非とも開催すべき旨を述べたあるが、總理は私の話に對し時局でたいものであると答へられた

また近衞首相も次の如く語る

副島伯からオリンピック東京大會の件につきお話あつたが、他の關係ともよく相談の上しかるべく政府としての態度を決定したき旨御返事して置いた

日支事變寫眞

愈々全世界に電送さる　支那のデマを擊退

【東京國通】日支戰線の生きたニュース寫眞の對外無線電送が一日からいよいよ實現する、日支事變以來世界各國から事變ニュース寫眞の電送要望が矢繼早に遞信省をはじめ關係方面に寄せられるので遞信省はかねて英帝戴冠式の際無線電送を實施し、すでに試驗濟みの英國に對し電送を開始することになり、英國郵政廳と交渉の結果、快諾を得たので卅日夜テストを行ひ九月一日より送信をなすことになつた、この寫眞はロンドンを通じ米國へも轉電送し、また獨、佛、伊の歐洲各國へも配給されることになるので日支事變の生きた寫眞が支那のデマ放送を驅逐し世界中に正しく生きた寫眞が傳へられるわけである

學術座談會　盛會裡に散會

大陸科學院は滿洲における第十三回日本學術大會に列席の電氣學界の權威東大教授龜山直人博士の來京を機に、三十日午後一時半より日滿軍人會館において學術座談會を開催總務廳、產業部、經濟部より各關係者二十名出席し、同博士より「電氣の化學利用」に關する講話を聽講後、種々意見の交換を行ひ同四時五十分散會した

孫民生部大臣

駐滿海軍部に醵金

認れる支那の迷夢を醒すため勇猛果敢なる無敵海軍の本領を發揮した海の精鋭に感謝の意を表するため滿洲國民生部大臣孫其昌氏は卅日參事官張驥文氏を使者として駐滿海軍部に派遣し懇ろに謝意を表するとゝもに「甚だ些少で失禮ですが」と民生部職員、新京醫學校、王爺廟興安學院職員、學生一同、衞生技術廠職員の醵金百五圓也を差出した、日比野司令官はその懇篤な好誼に感激厚く謝意を述べ美しい日滿融和の氣分に滿たされた

なほ廿七日以來海軍部に屆けられた獻金は藏家屯森田文太郞氏百圓、同自動車運輸營業組合代表五味武太郞氏五十圓、同東一條通久米多男氏五十圓である

柳河縣下で　共產匪百殲滅

〇〇部隊發表！去る廿七日午前一時卅分頃共產匪約百名が柳河縣五道溝に襲來せりとの報に接した〇〇部隊は直ちに出動、同地を距る西方の上小荒溝溪船地に逃走せる匪を急追、これを攻擊交戰三時間の後遂にこれを殲滅した、この戰鬪においてわが方二等兵須田秋男氏は名譽の負傷を負つた、敵の遺棄屍體二十、捕虜一、鹵獲武器彈藥多數

國婦新京支部　分會長會議

國防婦人會新京支部では卅日午後二時軍人會館において分會長會議を開催、支部役員及び分會代表五十餘名出席

一、國防會館建設に關する件
二、全國で募集した國防獻金五千餘圓の種別に關する件
三、本年度支部總會開催準備に關する件

上三件を議題に協議を遂げついで關東軍兵事部新任理事伏見少佐の挨拶あつて午後四時散會した

二代議士來京

民政黨の北支皇軍慰問團は卅日來京したが一行と別れて北滿方面を視察中であつた三木武夫代議士および社會大衆黨より派遣された北支那派遣軍慰問團の三宅正一代議士は卅日午後九時卅五分着列車で來京した、三木代議士は卅一日午後二時十分發列車で、三宅代議士は同四時四分發列車で夫々朝鮮經由歸京の途についた

布哇同胞の愛國熱

【東京國通】事變勃發とゝもに海外同胞よりの國防獻金は續々と寄せられ、變らざる祖國愛を示してゐるが、文部省航海練習船海王丸が先日ハワイのホノルル港を出帆の際同港在住邦人は米貨五百七十六弗（約二千圓）および邦貨三十圓、銀紙十五キロを畑野船長に國防獻金として委託した旨卅日文部省宛無電があつた、なほ同船の東京歸港は九月廿日の豫定である

癩者收容所十九ヶ所に

民生部提出の阿片、麻藥類不正業者の肅正工作に伴ふ隱者救濟に要する一般會計追加豫算十萬一千五百圓は卅日の國務院會議で可決したが、これにより同部では全滿十九ヶ所に隱者收容所を建設、患者二千三百餘名を收容して治療に要する投藥ならびに食料を給與、徹底的治療を行ふとゝもにさらに社會司、拓政司と連絡をとつて全治者の歸農又は職業輔導をも行ひ滿洲國から哀れな隱者を一掃することゝなつた

禁酒デー　矯風會支部で

基督教婦人矯風會新京支部では九月一日の關東大震災記念日禁酒デーに際し赤い襷をかけて街頭に進出、禁酒宣傳ビラを撒布することゝなつた

商況欄（八月三十一日）後場

株式相場

●大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品	一五、〇〇	—
豆新	—	—
東新	一三〇、三五	—
滿鐵	五一、九〇	—
同新	四一、六〇	—
日新	六五、七〇	—
鉛新	二〇九、〇〇	—

●奉天株式（短期）

銘柄	寄	引
滿取	—	—
東新	一二四、〇〇	一二四、六〇
日新	六五、八〇	六五、三〇
遼新	—	—
五品	一五、〇〇	—
豆新	—	—
滿鐵	五一、五〇	—
同新	四〇、〇〇	—
電甲	—	—
滿毛	—	—
日嗇	—	—

手形交換高（卅一日）　三五六枚　一八八、〇〇　三六九

奉天省下五族を擧げ 暴支膺懲國民大會擧行

暮色迫る會場に感激の熱風

奉天省下五族一國となつての日支事變國民大會は東亞の風雲愈々急を告ぐる卅日午後四時半より奉天國際運動場において皇軍支援の熱風と膺懲暴支の怒濤のうちに空前の壯觀を呈して擧行された

日滿大國旗が飜翻とひるがへる會場には軍服、協和服、白エプロンに襷がけの男女市民の勇姿をはじめ遠く城内農村から五色の國旗を先頭に滿洲國側小學校兒童、白系露人國が續々と押寄せ定刻前さしもの國際運動場も無慮數萬の大群衆に立錐の餘地なく埋め盡された、斯くて定刻開會宣言により大會の幕は切つて落され少年團による兩國々旗掲揚

第一軍管區軍樂隊の奏樂に合せ日滿國歌合唱を終るや萬雷の拍手を浴びて竹内協和會奉天省本部副長登壇主催者としての挨拶を述べ次で國民代表小林織太郎、汪兆審、羅景錫、トレーベルの諸氏次々に起ち

「東洋永遠の和平のため支那軍閥を打倒せよ」

「人類の敵容共支那を潰滅すべし」

「我等五族は正義皇軍を絶對支持し皇軍の偉勳に絶大の謝意と敬意を送る」

等と烈火の如き愛國の熱辯を振へば各民族の言葉こそ異へ同じく東洋和平を冀求する熱意は聽衆の胸を打ち滿場期せずして絶叫と感激の拍手に沸き團結の力を遺憾なく示したつゞいて上田穎氏が議長に推され皇軍慰問文決議の後慰問使に王允卿、河付宗嗣兩氏を全會一致推薦、終つて〇〇部隊長、葆奉天省長、王第一軍管區司令官の感銘深き挨拶あり大會はいよいよ白熱高潮したが暮色迫る七時すぎ金奉天市長、森岡總領事の發聲で日滿兩帝國萬歳を三唱、絶大なる意義を收めて大會を終つたなほ大會終了後日滿兒童二萬五千は手に手に兩國旗をふりかざし蜿蜒長蛇の旗行列を行ひ市中至るところ銃後第二國民の健氣な愛國心を發揮した

日滿兩軍への感謝文

奉天國際グラウンドにおいて滿場一致可決せる日滿軍に對する感謝文左の如し

△日本軍に對する感謝文

暴虐なる南京軍閥を膺懲し人類の公敵共産主義を潰滅し、明朗東亞實現のため炎熱霖雨の下各地に轉戰、健鬪せらるゝ日本皇軍將士の御苦勞に對し我等滿洲國民は謹みて滿腔の敬意と感謝の意を表す

八月卅日

日支事變奉天省國民大會

△滿洲國軍に對する感謝文

今次日支事變に日滿一德一心の國是に基き盟邦日本軍の正擧に應じ炎暑霖雨の下に轉戰奮鬪せらるゝ我國軍將士の御苦勞に對し衷心感謝の意を表すると共に擧國一致銃後の護りを固ふせんことを誓ふ

八月卅日

日支事變奉天國民大會

宣言發表

日支事變國民大會における宣言左の如し

□

日滿兩帝國は道義世界の建設をもつて建國の大體とし、東亞永遠の平和確立をもつて國是とす

盟邦大日本帝國はこの大義に則り夙に日滿支三國の親善提携に力を致せり、然るに南京軍閥政權は日本の眞意を歪曲し赤魔共産黨と提携し抗日侮日をもつて政權强化の具に供し遂に今次事變を激發せり、而して外、國際の信義を破り内、四億の民衆を塗炭に苦しめ天人共に容れざる惡逆暴戾を極む

盟邦日本帝國は隱忍自重和平解決に專念したるに拘らず、不幸事態の擴大は今日に及ぶ

吾人はこの際日滿一德一心の國是に基き盟邦大日本帝國の公明正大なる膺懲の聖師を支援し兇暴なる支那軍閥政權と人類共同の敵たる共産黨を打倒潰滅し、もつて支那四億民衆を塗炭の中に濟ひ速かに東洋平和の確立を期するため國民總動員の下に一致協力せんことを誓ふ

奉天全省一千萬國民の名に於て右宣言し左の決議をなす

△決議

一、吾人は盟邦大日本帝國皇軍の實力に信頼しこれに協力し暴虐支那軍閥政權及び共産黨を徹底的に膺懲潰滅し、日滿支三國提携の下に東亞恒久の平和確立を期す

二、吾人は支那四億の民衆を虐政より濟ひ、明朗なる道義政治の下にその幸福安定の生活を得せしめんことを期す

三、吾人は擧國一致、至誠奉公、建國精神を顯揚し、もつて大決議の實現を期す

右決議す

康德四年八月卅日

日支事變奉天省國民大會

總督府 在鮮滿人保護に萬全を期す

日支事變の全面的擴大に伴ひ鮮内在留支那人は續々引揚げを續けてゐるが、盟邦滿洲國人の鮮内居住者に對してもやゝもすれば感情的誤解を生む虞れあるので、總督府では鮮滿一如の大精神に基きこの際在鮮滿洲國人保護に萬全を期することゝなり、近く大野政務總監より各局長ならびに各道知事宛通牒を發し日滿一體鮮滿一如の結束を固むることゝなつた

朝鮮愛國金釵會 李王太妃御下賜金を 國防費に獻金

李王太妃殿下におかせられては北支事變勃發以來戰地における皇軍の活躍にいたく御心を寄せられてをられたが去る廿日朝鮮人が愛國金釵會を組織して銃後の婦人としての活動に邁進しつゝあることをきこし召され、二十九日同會の趣旨御奬勵の思召をもつて金一千圓を御下賜あらせられる旨御沙汰あり、三十日午後二時より同會本部において幹部列席の上これが傳達式が行はれ引續き幹部會を開き御下賜金の使途につき協議の結果、これを國防費に獻金することに決定、その手續をとることになつた

讀者の領分

投稿歡迎　中傷不可

朝鮮人聽取者の立場から

去る二十七日付本欄に於ける激怒生氏の激怒は餘りにも事理不辨な冷靜を缺いたる妄想であることを非難せざるを得ない、茲に朝鮮人の聽取者としての立場を述べもつて激怒生の蒙を啓くと共に新京放送局へ御忠言申上たいと思ふ。

我等は曾つて「朝鮮に於ける朝鮮人の聽取者は京城の第二放送(鮮語)を開始してから急激に增加した」といふことを新聞で見、新京の朝鮮人聽取者は全滿何れの地方よりも多いと云ふことを或る放送當事者の口から聞いたことを記憶する、然も滿洲事變前の長春時代の朝鮮人の數は僅か十三戸、現在に於ても間島、奉天、哈爾濱等より比べて最も經濟的地盤の薄弱な新京に於て盛である、勿論多いと云つた所で日本内地人の聽取者に比べて問題にならない微々たるものであることも十二分に察せられるが、兎角一人でも多いとすればその理由がある筈である、之に對し私の考へでは新京は事變後今日に至る迄日本側の野球、角力、其他の放送がある度に讓つては來たが奉天や哈爾濱放送局の如く放送を休んだりしたことがなく忠實に續けて來た事に歸着すると思ふ、激怒生の云ふ如く「一日に五分や十分を聞いて月一圓を拂ふものはない」と云ふが其の「ない」と云ふことが我等には現實存在するのだから仕方がない。勿論四十五圓以上の高級受信機なら京城の放送が入るには入るが、それとて皆がこの高級機ばかり買ふ譯には行かないのだ、我等は決して不平は云はないしかし朝鮮語の放送も何れかは我等の滿足し得る「サービス」のあらん事を希求且確信し自慰する次第である、

我等は叫ぶ!!爾後朝鮮語の放送は毎日(日曜も)一時間半以上實施して欲しい、そして日本語の野球や其他已を得ざる場合は仕方がないとしてもニュース丈は非常放送してもらひたい。だが放送當局としては勿論我等の想像外の事情なり無理もあらうと察せられるが時局柄殊に留意してもらひたい、右放送當局の善處を望み激怒生氏の頭へ氷シップを勸める。

(嘲笑生)

護國の英靈九十八柱 合同告別式

▽……三十日京城で執行さる

國威を宣揚し遂に北支の野に護國の鬼となつた故丸山大佐以下九十八柱の合同告別式は三十日午前九時から步兵七十八聯隊營庭で嚴かに執行された、午前八時五十分祭司深澤中將、告別式委員長吉田大佐丸山大佐未亡人以下遺族をはじめ南總督、小磯軍司令官以下官民及び各學校、各團體代表等五百餘名參列し定刻午前九時まづ神式により開始し、祭主京城神社宮司の祝詞にはじまり深澤中將祭文を奏し、南總督、小磯軍司令官以下の弔詞朗讀、續いて各方面よりの弔電披露あり、祭主玉串を奉奠すれば七十八、七十九聯隊の各一中隊よりなる儀杖兵の敬禮あり、ついで佛式による告別式に入り導師以下衆僧の讀經の後回向文を奏すれば儀杖隊は二回にわたり弔銃發砲、最後に吉田委員長の挨拶あり午前十時半式を終了、引續き一時間にわたり一般參拜者の燒香が行はれ盛大裡に式を終つた、なほ遺骨は三十日午後五時半發故山に向け出發した

牡丹江省地方 肅正委員會

治外法權撤廢を前に之が準備工作として關東軍司令官及び滿洲國政府の指示に基き今回當地に牡丹江省地方肅正委員會を設置、省下の不正業者及び不正行爲者の徹底的肅正をはかることゝなり、卅一日午後一時省公署に委員廿餘名出席第一回委員會を開催、委員長に大島省長、幹事長に宇山次長が就任、九月より積極的明朗化をはかることゝなつた

奉天商議が 應召者を積極援助

今次の事變に際し應召者をして後顧の憂なからしむべく應召後の待遇および家族の扶助等に關しては省公署當局よりの通達趣旨に基き過般來各機關においてこれが措置を考究中であつたが、奉天商工會議所ではこれがため卅一日の定例役員會議に應召者の待遇案を附議決定の上、會議所加盟各同業組合の協力によつて應召者營業援助、家族の生活保障をなすことゝなつた、滿洲における商工團體の應召者援助運動のトップを切るものとして注目されてゐる

一、同業者團體をして資金の融通、勞力の補給その他從來の營業の維持繼續に關し必要なる援助をなさしめること

一、必要に應じて業者團體に相談役を設け應召者の家族營業者の指導その他事業の實施に當らしむること

一、同業者團體をして應召者に對し應分の餞別を贈らしめ家族を頻繁に慰問せしむる等銃後の後援に遺憾なからしむること

樋口特務機關長着任談

【哈爾濱國通】新任哈爾濱特務機關長樋口季一郎少將は卅日午前十一時四十二分着列車で着任した、同少將は嘗て〇〇部隊參謀長として約一年在滿し參謀本部附となつて本年六月歐洲を視察八月歸朝と同時に哈爾濱特務機關長に任命されたのである同少將は語る

約一年半振りで見る滿洲國の發展振りには實に驚歎のほかはない、一九二五年から二八年までポーランド公使館附武官として在勤、その間ロシヤ、ドイツ等の國情を視察したが、それから約十年今回の視察でそれ等の國情に多大の變化を來してゐるのを見た、ロシヤは單に通過しただけだが物質方面に發展を遂げてゐるやうだ

安東高麗子にペスト容疑者

領事館警察署農安分駐所よりの報告によれば廿八日午後三時高家店防疫員が農安東南方高麗子部落を檢病のため戸口調査中ペスト容疑者一名を認め檢鏡の結果ペスト樣の菌多數を發見しペストの疑ひ益々濃厚となつたので同地一帶の消毒交通遮斷を實施し引續き嚴重監視の上防疫に努力中であると

ラヂオ普及の具體方針

奉天省公署決定

滿洲國政府では重大時局に鑑み全國民の認識强化ならびに國内産業文化開發のため協和會、電々等と協力、ラヂオの全國的普及に乘出すことゝなり、目下弘報處において計畫を立案中であるが、奉天省においても省公署、電々會社奉天管理局の積極的協力を求め都會居住者は勿論農村の隅々までその普及徹底を期すべく具體的方針として

一、實用向き低廉價なるラヂオ受信機を年賦制度により大量販賣する

一、毎月の聽取料を全廢し、若くは極めて低廉にする

一、農村方面には可及的速かに公衆用のラヂオを大量設置する

等を決定した

農業移民政策につき 高岡總長談

【哈爾濱卅日發國通】農業移民政策の權威北海道帝大總長高岡熊雄博士は、廿九日午後一時着列車で來哈、ヤマトホテルに投じたが博士は北滿移民につき語る

自分は七年前に來哈したことがあるが、南滿各地の發展に比し哈爾濱はスローモーションだ、哈爾濱の將來性は一に奥地の發展にかゝつてをり、北滿の農産開發が必要である、農業移民の現狀をみるとどうも東北地方出身者が大部分を占めてゐるやうだが規模、農法、機構の三要素が北海道と一致してゐる、北海道の農民を今後續々移植すれば相當の成績を收めるものと確信してゐる、新京においても當局者に進言しておいた、なほ移民諸君も出稼根性を棄てゝ永住の信念を確立する必要がある

青木對滿事務局次長 滿支視察

對滿事務局次長青木一男氏は要務のため九月一日東京驛發北支および滿洲に赴き、同十五日歸京の豫定

管下水害地の救濟復興對策

奉天省公署の具体案

奉天省公署では管下各縣の水害に對し鋭意情況調査を進めてゐる、一方早くも地方當局と協力し罹災民の救濟ならびに全面的復興事業に乘出すことゝなり、目下具體的計畫を急いでゐるが、これが實施方法として事業を三期に分ち

一、第一期は九月、十月兩月間民食補給、罹災民への施藥、施療、惡疫豫防救濟土木工事としての道路改修ならびに橋梁假設、流失部落の移轉再興

二、第二期は十一、十二の兩月間義倉の運用による窮民への食糧補給

三、第三期は明年度一月から春耕作期に至る期間豫算關係を考慮の上民食問題解決にあたる

以上の如き方針をもつて罹災地復興のため全力を傾注することゝなつた

滿洲畜産會社 創立總會

滿洲畜産會社の發起人總會および創立總會は卅日午後一時より日滿軍人會館において開催、各創立發起人および關東軍より町山獸醫部長、畜産局より濱田畜産局長、坪井、堀尾、米田各技正、企畫廳より野田參事官、經濟部より横山金融科長その他關係者出席し創立事項報告および役員選擧の後定款および役員報酬を夫々承認可決し、午後二時半散會した

本會社は産業五ヶ年計畫遂行に伴ひ國内役畜勞働力の不足緩和および國家的配給統制の一元的代行機關として家畜の需給を調整するとゝもに、畜産物の處理を行ふものである本會社は滿洲は滿洲國法人で滿洲畜産股份有限公司と稱し資本金五百萬圓(二分の一拂込)の準特殊會社で、出資内譯は

滿洲國政府　二百七十五萬圓

滿拓　百五十萬圓

鮮滿拓　七十五萬圓

で、決定せる重役は左の如し

△董事長　元馬政局副局長　毛　遇風

△專務董事　産業部技正　永島　忠道

△常務董事　新京居宰股分有限公司董事長　宇戸脩次郎

△董事　元興安北省總務科長　雙　海

△同　滿拓理事　花井　脩治

△監察人　元龍江省實業廳長　葆　廉

△同　鮮滿拓植理事　木村　通

而して本公司の事業目的は

一、家畜の輸入

二、國内家畜の賣買

三、畜産物の賣買及び加工

四、前各號に附帶する事業

で本店を新京に、支店を哈爾濱に設置し、必要の地に工場出張所及び家畜收容所を設けるが、初年度事業計畫において決定せる出張所々在地は左の如し

多倫、奉天、洮南、通遼、赤峰、海拉爾、延吉

なほ事業目的中畜産物の加工ならびに賣買は當分これを行はず康德六年度下半期において現在滿鐵の出資經營になる哈爾濱獸肉加工々場を接收し、現物出資の形で滿鐵と協力し、將來なほ奉天にも加工々場を設ける豫定であるが、當分の間は專ら家畜の輸入および國内家畜の賣買に主力を注ぐことに決定した、而して本公司の事業計畫は左の如し

一、家畜の輸入

家畜は主として察哈爾、北支、朝鮮及び内地より輸入し初年度は

馬　九、〇〇〇頭

牛　一二、〇〇〇頭

羊　三五、〇〇〇頭

合計金額　一、七三〇、〇〇〇圓

二、國内家畜の賣買

初年度國内家畜取扱豫定數量は左の如し

馬　三、〇〇〇頭

牛　五、〇〇〇頭

羊　一〇、〇〇〇頭

合計金額　三九八、〇〇〇圓

三、畜産物の賣買及び加工

イ、畜産物の賣買　羊毛、獸皮等の畜産物の賣買を行ひ畜産の助長に資す

ロ、畜肉加工　ハム、ベーコン、ソーセージ、肉罐詰の製造販賣及び獸脂類肉エキスその他副産業物の製造販賣

なほ畜肉加工は前記の如く三年度下半期より行ふことゝし五年度までに加工生産量五萬瓩に擴張するものとす

關東軍恤兵獻金

△卅圓―奉天松島町十六番地大澤藥房内奉天藥友會一同代表大澤勇作△一圓四錢―奉天浪速通二九番地木暮洋子△四圓九十二錢―奉天八幡町十三番地氏原歌子△卅圓―皇姑屯扶輪小學校職員一同△六圓十九錢―奉天野田タマヨ△百五十五圓七十錢―奉天館主右田愼愛△七十圓―同滿洲大藥株式會社從業員一同代表白井源吉△二圓―蘇家屯電業公司内匿名△一圓―奉天加藤福一△四圓九十五錢―同田實泰良同良代△五十圓―本溪湖數島町―桑野一郎△二圓―奉天鈴木之助同和子△一圓―各石橋テルヨ△十圓―同宗像裂裟信△廿圓―同龍山四市△四圓卒六錢―在奉天一在郷軍人△十三圓―奉天商業學校後藤亨子外三名△三圓八十九錢―奉天高橋誠一△廿圓八十九錢―同氏原咏子一名△八圓八十五錢―同山下英和外二名△廿圓―同董克敏△一圓七十一錢―同寺崎吉藏外一名△四十圓十九錢―同岡松虎一同キイ子△一圓八十二錢―同萩宗則△八[illegible]四十五錢―同山本晃夫△十圓―同佐藤半軍△百廿五圓―同小林愛知一△六圓五十一錢―同樋口一半△六圓七十九錢―同伊勢彦臣△六圓三十一錢―同矢野章△六圓二十七錢―同井弘明△一圓二十九錢―中澤陽子、同照人△一圓九錢―横[illegible]同河野豐△二圓四十九錢―同吉田利主△八圓九十五錢―奉天山本茂子外一名△廿五錢―同高千穗小學校同窓會[illegible]同△二圓―同德永秋子△一圓七十三錢―同若村孝一△三圓十六錢―同島田朝子外一名△十圓廿七錢―同仲野進△五圓―同野杉政榮△十圓廿五錢―同佐伯皓外二名△卅圓―同藤平四郎△十圓―遠藤製帽工場―鮮人職員一同△百五圓六十錢―新京株式會社滿洲映畫協會林常務理事外社員一同△五十圓―同滿洲ペイント株式會社新京支店一同△千圓―滿洲國最高檢察廳々長李樂和十七圓―瓦房店雲集街新京謙和工廠―燈房部員鄭黑慶外十七十一圓―復州炭鑛日人從事員岩根元三外廿一名△八十圓五十錢―復州鑛業株式會社胡咀出張所日滿社員一同△十圓―日滿商事株式會社瓦房店駐在員一同△十五圓―瓦房店鮮人會一同△十圓―復州灣舊市街張從周外五名△十圓―萬家嶺在住民會△五十圓―芦家屯蔡岡文太郎△百圓―同谷口庄太郎△十五圓―同商會△百十九圓―横道河子居留民會内、大日本國防婦人會横道河子分會會員一同△慰問袋三個―新京金池はつの慰問袋一個、千人針一枚―新京山本綾子△慰問袋百六十個―新京特別市公署内新京觀光協會内新京土産商組合代表田村英雄△千圓―侍從武官長張海鵬△四圓―錦ヶ丘女學校安本節子△

外一名△十三圓廿七錢―新京西安橋兩級小學校職員生徒三百廿七名△十二圓廿五錢―新京大同街兩級小學校職員生徒百九十名△九圓五十三錢―新京孟家橋初級小學校職員生徒二百九十九名△三十圓―阜新縣宮竹庄平△五十圓―阜新縣富田一郎△廿圓―阜新縣妙法旅館女中一同△八十圓―阜新縣東源吾外仲居藝妓一同△百圓―阜新縣掘野覺衛外仲居藝妓一同△三十圓―阜新縣佐島才誠△五圓―阜新縣不破政子△十圓―阜新縣不破理髪館職人一同△十圓―阜新縣平垣定登△四十一圓―阜新縣カフェー滿光女給一同△四圓六十二錢―阜新縣炭鑛醫務室職員一同△七十八圓三十錢―掏鹿西豐朝鮮人靑年團△四圓六十八錢―在承德日本帝國領事館員一同△五圓五十錢―在奉天日本帝國總領事館山城鎭分館々署員一同△六十三圓八十七錢―延吉在間島日本帝國總領事館延吉分館々署員一同△六十四圓七十八錢―在奉天日本帝國總領事館員一同△五圓五十錢―牡丹江尋常小學校奧野東生△八十五圓―滿洲パルプ樺林建設事務所從業員一同△三十圓―牡丹江檜垣勘△廿八圓八十五錢―共同印刷所從業員一同△廿二圓五十錢―牡丹江中村スマ外三名△卅八錢―寧安縣馬場萌子△四百六十三圓五十錢―寧安縣海林在住民一同△二百廿圓八十五錢―牡丹江角力協會△[illegible]

家庭

今日から慶弔電報を安く打てます

喜ばれる色刷用紙、例文利用の便宜

中央電報局受配課長 鈴木小次郎氏談

慶弔電報は内地にては昨年末より取扱つて年賀電報同様需用者に喜ばれて居りますが、滿洲内に於ても九月一日より取扱を實施する事になりました、慶祝には安産、入學、合格、卒業、結婚、榮轉、優勝、落成、開業、入營、凱旋其他二十一種類に對し二十八種の慶祝文があり、弔の方は六種の弔慰文を準備してゐますから、其のうち御氣に入つたのを選擇し指定してください、料金は普通文をお出しになるより例文を御指定になれば「華燭の盛典を祝し御多幸を祈る」とか、お悔みなれば「御逝去を悼み御冥福を祈る」とかいふやうに長い電文の外に發信人の住所、氏名等十五字以内なれば二人の名前まで書いても最低の料金で打電され、その上電報の配達紙は結婚なれば瑞雲に鶴龜と松の模様、入學なれば鳩の模様等數種の美麗なる圖案の式紙を使用し、お悔みには黒リボンの模様といふやうにそれぐ色刷の用紙を封皮に入れて配達されるので一般から喜ばれることと思ひます、左記承知の上御利用下さい

▲慶弔電報は和文電報及び漢文電報にして其の本文の全部又は一部が慶祝文、弔慰文より成る私報は慶弔電報として差出されます

▲慶弔電報は左の二種類です

一、例文電報
例文電報は本文が別に定めた文例中から其の一つを選定したるものに發信人名を附したるもの

二、任意文電報
任意文電報は例文電報に該當せざる慶弔文を記載したるもの

▲慶弔電報を發信される際は電報發信紙の餘白に慶祝文なれば「祝」弔慰文は「弔」と記載してください、電報を差出す際慶弔電報と申出らるれば電報局にて記載します

▲例文電報の記載方は電報發信紙の本文欄に慶祝文、弔慰文に代へて文例の略號又は番號を記載し其の下部に發信人名を記載してください、例へば「御安産を祝す 大山桃太郎」と記載するときは
イ」オオヤマモモタロウ

▲料金
一、例文電報料
(イ)市内電報 和文金十五錢、漢文金二十錢
(ロ)滿洲内 和文金三十錢、漢文金四十錢
(ハ)艦船宛 和文金八十錢、洋文金一圓十錢
(ニ)同文電報は原信以外は一通に付和文金二十二錢、漢文は名宛に依つて違ひます
(ホ)艦船宛同文電報は原信以外一通に付和文金四十五錢、漢文金五十錢
二、任意文電報は一般私報料金と同額

▲慶弔電報の配達時刻を指定することが出來ますが、發信の時間が配達の時間に接近したり翌日配達や艦船宛のものは應じ兼ねます

▲慶弔電報は當分の間滿洲内に限り取扱ひ内地、朝鮮宛は扱ひません
其の他慶弔電報に就ては各電報局及び中央電報局案内係(電話三、五〇三八番)へ御尋ね下さい

▲尚は慶弔電報文例和文例は左の通りであります

慶祝文例

(略號)		(文例)
イ	出産	御安産を祝す
ロ	入學	御入學を祝す
ハ		御入學御芽出度う
ニ	合格	合格を祝す
ホ	卒業	御卒業を祝す
ヘ		御卒業御芽出度う
ト	結婚	御結婚を祝す
チ		華燭の盛典を祝し御多幸を祈る
リ		謹みて御婚禮を御祝ひ申します
ヌ	榮轉	御榮轉を祝す
ル	榮進	御榮進を祝す
ヲ	入選	御入選を祝す
ワ	入賞	御入賞を祝す
カ	當選	御當選を祝す
ヨ	優勝	御優勝を祝す
タ	成功	御成功を祝す
レ	安着	御安着を祝す
ソ	歸朝	無事御歸朝を祝す
ツ	壽賀	還暦の御祝典を賀す
ネ	會合	御盛會を祝す
ナ	落成	新築落成を祝す
ラ	開業	御開業を祝す
ム		御開店を祝し御繁榮を祈る
ウ	入營	御入營を祝す
ヰ	凱旋	光輝ある凱旋を祝す
ノ	共通	御盛典を祝す
オ		御芽出度う
ク		謹みて御祝ひ申します

弔慰文例

(番號)	(文例)
一	謹みて御逝去を悼む
二	謹みて御悔み申す
三	謹みて哀悼の意を表す
四	御逝去を悼み御冥福を祈る
五	御永眠謹みて御悔み申します
六	名譽の御殉職に對し謹みて哀悼の意を表す

ラヂオ けふの番組

〔M・T・C・Y 新京放送局〕一日(水曜日)

朝

六、二五ニュース(東京)
六、三〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ(大連)
六、五〇初等滿洲語講座(大連) 講師 秩父固太郎
七、一五朝の音樂(大連)
七、四五建國體操
八、〇〇氣象通報(大連)
九、〇〇經濟市況(東京)
九、三〇家庭講座(大連)
一〇、〇〇非常時局を突破するには 川村牧男
一〇、二〇料理獻立(奉天)
一〇、三〇家庭メモ

晝

一〇、四〇經濟市況(大連・新京)
一一、四〇經濟市況(東京)
一一、五九時報(東京)
〇、〇五晝の演藝(レコード)
〇、三〇ニュース(東京・新京)
一、〇〇經濟市況(大連・新京)
三、〇〇經濟市況(大連・新京)
三、四〇經濟市況(東京)
四、〇〇ニュース(東京・新京)
四、三〇經濟市況(大連・新京)

夜

五、二〇ニュース(鮮語) 講演(鮮語)
六、〇〇子供の時間(大阪) 連續物語 日出ちやんのお手柄(一) 大阪放送童話研究會
六、二〇コドモの新聞(大連)
七、〇〇ニュース(東京)ニュース・告知事項・番組豫告(新京)
電電會社創立四周年記念特輯
七、三〇一、挨拶 會社創立四周年に際して 滿洲電信電話株式會社總裁 廣瀨壽助
一、混聲合唱 新京混聲合唱團
イ、電々社歌 山田耕作作曲
ロ、電々行進曲 同
一、獨唱と合唱
イ、皇國日本 日本教育音樂協會選曲
ロ、讃へよ皇國 同
一、合唱 伸び行く日本 同
六、二五連續講座(東京) 現下の支那(一)政治 鶯澤與四二
八、〇〇物語(大連) クオレからの四つの物語 大連藝術座 演出 糸山貞家
一、ロンバルヂアの少年斥候 川崎
二、ガリバルヂ將軍 目木 覺
三、サルヂニヤの少年鼓手 和宮 富雄
四、ウンベルト親王 宇多 眞澄
八、三〇尺八(奉天) 本曲 青海波 中尾都山作曲 山城曙山 江幡峯山
八、四〇吹奏樂(哈爾濱) 伴奏 MTFYブラスバンド 指揮シュワイコフスキー
一、行進曲 星空の下に ウイザー作曲
二、輕騎兵 ヅッペ作曲
三、春の目覺め バッハ作曲
四、歌劇 金鷄より ドドン王の行列 リムスキーコルサコフ作曲
九、〇〇連續講談(東京) 軍事探偵 鐘崎三郎(一) 一龍齋貞山
九、三〇時報・ニュース(東京)ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告(新京)
一〇、一〇ニュース再放送
一〇、三〇北滿の時間(哈爾濱)
一一、〇〇滿語ニュース・講演・音樂
アナウンサー 宮岡(朝)上森(晝)佐藤(夜)

電々四周年記念放送 社歌と祖國に捧げる歌 新京混聲合唱團

後七・五四

今晩は電々會社創立四周年記念に因んで電々社歌及び電々行進曲と他に艱難の時局に颯爽と振起つた皇歌を讃へて合唱と獨唱を放送する。出演は新京混聲合唱團の人々で今回が二度目、歌曲は全て日本教育音樂協會選にかゝるものである。(寫眞は同合唱團々員)

電々社歌

ピアノ伴奏 清水英子
指揮 細田透

一、くろがねの扉を開き 日滿の契りは清く 草土拓くと こゝに生れたり我が電々 いざいざや我等勵まむ大き使命に
二、滿洲の空澄み渡り 建設のいさをぞ高く 雄途のぶると 理想に輝けり我が電々 いざいざや我等盡さむ重き任務を
三、奉公の誓ひ尊く 新睦の世界を繋ぐ 至誠つらぬき とはに榮あり我が電々 いざいざや我等築かむ固き基礎

電々行進歌

一、古今幾度雲起きし 東亞の山河血に飽みて 今ぞ偉靈の空 傾くところ滿蒙の 樂土を見ずや王道の 使命に起てる我なるぞ
二、歴史は古き發祥の 萬の國に秀づべき 文化の光芒憶ふとき 國のみ柱定まりて 文化の指針通信の 務に就かむ時はきぬ
三、菊花爛花の香をしめて 黎明の空拓きては 交はす電波に國安く 結ぶ樂土に世を擧げて 我等が理想の文化郷 讃へむ時も今暫し
四、王道の下隅もなく 國富豐かにみのるとき 返り見すれば躍進の 樂土謳歌の電鈴交はし 大空高く人類の 和協の柱仰ぐかな

皇國日本

獨唱 山田不二子

一、五十鈴の宮の神寂びて 我が日の本の基礎は 寶祚と共に窮みなし あゝ悠久なる歴史の誇り 皇國日本 皇國日本 皇國日本
二、すめらみことの統治す 我が日の本の繁榮は 天地と共に涯りなし あゝ隆々たる國威の光り 皇國日本 皇國日本

讃へよ皇國

獨唱 大江千鄉

一、天地のむたきはみなき 天津日嗣をうけたまふ 聖の帝知ろしめす 御代彌榮の大皇國
二、讃へよいざやもろともに 高光る陽とくまもなく 國威赫ひ四方に照り 漲る力火と燃えて 直進みゆく大皇國 讃へよともにたからかに

伸行く日本

一、大天地と窮みなき 神の勅をさながらに 聖の帝しろしめす 常若の國我大日本 伸びゆくはてぞきはみなし
二、大御寶と限りなき 惠たらへる民草の ともに捧ぐるまごゝろに 彌榮る國我大日本 伸びゆくはてぞかぎりなし

連續講談(一) 軍事探偵 鐘崎三郎

▽……一龍齋貞山 【後九時・東京】

今晩より三日間にわたる連續講談軍事探偵鐘崎三郎は講談界の元老伊藤痴遊師の十八番ものであつたのを後貞山師が痴遊師につき學び貞山師獨特の口調に改めたもので日清戰役に於ける我軍大勝利の蔭に活躍した勇士の功績をたゝえたものである。

△△…筑前の國三潴郡の醫師良順の伜鐘崎三郎は、十一歳で兩親に別れ、一旦は出家を致したが後還俗して軍人になりたいと考へ遙々と東京へ出て參り、時の陸軍大將山縣有朋公に願つて成城學校に入學たが事情あつて半途で學校を退き當時の日本の國情から察して、日本は將來支那を深く知る必要があると考へたが、金が無い爲支那を研究するために彼地に渡ることが出來ない。そこで支那の商館へでも奉公して、その何かの手蔓をつかんで渡らうと思つたが、第一それには支那語を知らなければ不便でいけない。で、先づ陸軍教授小畑正次について支那語を勉強し

△△…これが大分出來るやうになると、今度は實地について學ばねばならないと東京を發つて長崎の居留地へまゐり毎日のやうに歩き廻つては道で會ふ支那人をつかまへて話しかけるといふ熱心さ、はては支那人と衝突して警察の御厄介になるといふ騒ぎを持上げたりしてその後は外出もせずにゐたが、當時長崎第一流の貿易商森一郎右衛門のたつた一人の愛娘お花にのぞまれて森家の婿になつてゐた。ところが明治二十三年、ふと新聞の廣告欄を見ると「日清貿易研究所を上海に設立する、望みのものは來れ」といふ廣告が目にとまつた。それを見ると鐘崎は喜び勇んで直ちに森家を去り荒尾某について上海へ渡り、日清貿易研究所に入ることになつた。

マンガ 左膳

乳兒の育て方

産婆 山口孝子 (七)

母乳を與へて惡い場合

自身のお乳の性質が悪いのではないかと心配なさるお母様がありますが、お乳の性質が惡くて赤ちやんが育たぬと云ふことは、殆どないものです。但し次の様な場合は注意しなければなりません。

(一)脚氣 母親が脚氣でも又已に乳兒迄脚氣になつた場合でも、直ぐに母乳をやめる必要はありません。勿論病氣ノ程度にもよりますが大抵は醫師の指導の下に授乳しながら親子の脚氣を治療することが出來るものです。人工榮養にすると云ふことは萬止むを得ない場合のことであります。母乳を與へて惡いかどうかは醫師に相談してからきめなければなりません。小兒脚氣の主なる兆候は先づ吐乳に初まり綠便となり、不機嫌にして元氣なく更に進むと顔色が蒼く、浮腫が現れて來ます。たとひ母體には脚氣の兆候がなくとも乳兒が頻繁に吐乳する様な場合は醫師の診察を受けることが必要であります

(二)母の急性傳染病 母親が腸チブス、赤痢、ヂフテリア、猩紅熱等の急性傳染病にかゝつた場合は、母の爲めにも子の爲めにも、授乳をやめなければなりません。

(三)母の結核 子供に感染の危險がありますのみならず、母の爲めによくありませんから廢乳することがよいのです。

人工榮養

人工榮養は不自然なものですから、とかく消化器を害ね易く、つい榮養が惡くなる爲めに抵抗力が弱くなり自然他の疾病にもかかり易く、病氣にかゝるとなかなか治りにくいのであります。殊に三ヶ月以内の赤ちやんの人工榮養はむづかしいものですから細心の注意のもとに行はなければなりません。

人工榮養として何がよいか?

牛乳 母乳代用としては牛乳が一番です。然し市販せられてゐる牛乳にはいろいろありますから良質のものでなければなりません。赤ちやんに飲ませる牛乳は、取扱其他殊に嚴重にした特別牛乳と云ふのがよろしいのです。

練乳 練りミルクは前二者に較べていろいろな點で劣るものですから先づお使ひにならぬ方が安全です。

粉乳 牛乳をさし置いてコナミルクをおすゝめする譯には參りませんが、取扱上腐敗のおそれも少なく、使用も便利ですから良質の牛乳の得られないところ、或は牛乳の使用を不便とする場合とかにはコナミルクがよいと思ひます。この頃は粉乳も隨分よいのが出來て居ります。

牛乳はその成分が人乳と異りますので生後七ヶ月迄は水又は重湯などでうすめ、之に糖分を加へてなるべく母乳に近い成分として與へるのです。うすめ方及び哺乳量は月によつて異にしなければなりません、又赤ちやんの健康や體質によつても加減しなければならないのでありまして、御自分の子供にそのまゝ當てはめ様とすることはいけません。

・牛乳の稀釋法及び糖澱粉の追加 誕生後三ヶ月迄は二分の一即ち牛乳一水一でありましてつまり等分です。四ヶ月より七ヶ月迄は三分の二即ち牛乳二水一の割合とし八ヶ月からは全乳とします。牛乳の稀釋法も近頃は以前とは變つて居ります。糖分の追加は五%迄とし(うすめた牛乳一〇〇瓦に對して五瓦即ち一合に對して九瓦)二ヶ月からは重湯又は穀粉を少量宛加へます。體重の増加が良好です。穀粉は三ヶ月は一%乃至二%とし三、四ヶ月は三%、其後は四%位の割合に加へることがよいのです。

・哺乳時間及び哺乳量 牛乳は人乳に比し消化の悪いものですから特に哺乳時間を嚴重に守らなければなりません。生後三週間位より四時間おきとし、夜間の授乳を廢し一日五回授乳するのがよろしいのです。哺乳量は一定することは困難ですが大略を記します。

誕生より四週間迄	一〇〇乃至一三〇瓦
二ヶ月乃至三ヶ月	一三〇乃至一六〇瓦
四ヶ月乃至五ヶ月	一六〇乃至一八〇瓦
其後	一八〇瓦乃至二〇〇瓦(以上一回量)

以上は健康乳兒の標準であります。

粉乳 一口に粉乳と申しましても種類はいろいろありまして無糖のものでは、おしどりミルク、金太郎ミルク、クリーム等、これに乳糖を加工したものがラクトーゲン、蔗糖の入つた森永ドライミルク、蔗糖と滋養糖の附加されたキノミール、蔗糖と小麥粉を含むパトローゲン等それぐ特質を持つて居ります。

健康のときは適量の糖があつた方がよいのですが、下痢がつゞくとき等は糖のない方が好都合です。又加糖粉乳でもうすめ方の程度によつて幾分糖を加へた方がよい場合が多いので無糖粉乳がよいと思ひます。無糖粉乳ですと牛乳のところで申上げました様な割合に糖と穀粉とを加へればよいのであります。

コナミルクのうすめ方は各容器についてゐますのに從つて行へばよいのでありまして、哺乳量及び授乳時間も牛乳と同一でよいのです。コナミルクのとかし方は決していきなり熱湯をかけてはなりません。水又はぬるま湯で匙をもつてよくとかしてからお湯を加へることがよいのです。又コナミルクの調乳は牛乳の場合と違ひどんな場合にも必ず一回一回に必要な量を作ることです。夜間の哺乳の爲めにと作つて置くことは絶對に避けなければなりません。一旦蓋を開けた罐は必ずよく蓋をして乾燥したなるべく溫度の低いところに置く様にしなければなりません。

又あまり大きな罐を買ふことはよくありません。一旦開けたものは腐敗し易いものですから一週間乃至一〇日で使用してしまふ位がよろしいのです。又開けなくとも一年以上たつたものは變質し勝ちなものですから、なるべく繁昌してゐる店で買ふことが必要です。

學藝

「大同劇團第一回公演」雜感
正しき社會的意圖 研究の余地ある設計

山下明

「大同劇團」は滿洲國の國策思潮の透徹を期し、且つは滿洲國に眞正な演劇建設を志して創立されたといふ。その結成第一回公演の初日を觀る出し物は「建國史斷片」一幕「王屬官」三幕「北支事變」一幕三幕八場の三つである。

三つの中で「建國史斷片」が一番よく出來てゐる。物語は簡潔直截、ハッキリして分りがいゝ。第二場の終りに老村長が自分の息子の殉死の報を受けながら「子供一人の問題に非ず」と敢然と起つ時、滿人の間に拍手がおこる。第三場の終りの「鐵道と村とを守り得た村長は莞爾として逝く」所で再び激しい拍手が起る。彼等が感銘したからだ。

人々が最も感銘するのは（知識程度の高低を問はず）錯綜した稀にしかあり得ないトラブルではなくして、「死」であり「犠牲」であり、「勇敢」……であり、之等に感銘するのはすべての人間の魂に根強く伏在する本性である。

「モヒカン族の最後」といふ映畫に、一人の白人の娘が自分を慕ふ土人の青年が斷崖の上で自分の爲に他のも一人の土人と決鬪し遂に破れて千仭の谷底に突き落される。とその白人の娘はその土人の青年の後を追つて自ら身を投げて死ぬといふ場面があつた。何の新奇もないシーンである。だがあの映畫を見た人々は恐らくいつ迄もあのシーンの深い感銘を忘れないであらう。複雜な一人よがりな「思ひ付き」は禁物である。對象が滿人である場合特にさうである。彼らの知識程度と理解力とを考慮し、彼等の爲に作られるものは劇でも映畫でも、ゆつくりとしたテンポで、要點を分りやすく示したものでなければならぬ。と斯ふ云ふと如何にも粗雜な非藝術的なものでいゝといふやうに考へられるかも知れないが左に非ず、藝術とは何も星の相貌の謙述や植物心理學者の深刻な表情だけではない。百性に分り、馬車夫の喝采を博する藝術がこの場合最も重要なのである。誤つた「藝術觀」が一番戒心さるべきである。

シェプレヒ・コール「北支事變」はその表現技術の拙劣に依り意圖の優秀にも拘はらず全く効果を擧げてゐない。音聲と音樂との融合どころか二つのものが相剋して、言つてゐることがよく聞きとれない。この樣な表現形式は、人員の整備、訓練の蓄積、補助機關の完備を待つて初めて試みらるべきものである。物眞似みたいなことをせずに、どうせまだ汚れぬカンヴアスなら大きな腹の坐り具合を見せて、知つたかぶりの「インテリ達」を尻目に最初から圖太くやつたらいゝだらう。次いでこゝで考へられるのが滿洲に於ける吹奏樂團の必要である。現在滿洲には「滿洲吹奏樂聯盟」といふのがあつて、十六、七のバンド（主として滿鐵系）が加入してをるが、之は日本人を對象としたもので、滿人に呼びかける滿洲音樂ではあるまい。劇と密接不離な樂團—滿洲音樂を中心に日、鮮、蒙、露の音樂を夫々アレンヂしてつくり上げる。劇を離れても相當面白いものが出來る筈である。

「王屬官」は幕間の長さが冗長の感じを余儀なくし、日滿兩語の混用が理解を殺いでゐる。特に登場人物が日本人だけの場合になると、滿人の方は興味を失つて引き揚げる者も相當あつた。觀客が日、滿兩方である場合、あゝするより外に仕方がなかつたのであらうことは充分分つてゐるが、觀客を滿人は滿人だけ、蒙古人は蒙古人だけと分劃して、夫々の言葉で演ずるか、又は互に通譯し乍ら同じ意味のことを反覆重複して云ふか（例へば「王屬官」の場合、日本語で、之は豚の飼育税か？、といふと、滿語で？と？といふ樣に）又は分らない儘にそのまゝ押してゆくのが協和精神であるか、とにかく日、滿、鮮、蒙、露と混居してゐる滿洲では、この問題の解決は相當難物であらう。

尚この大同劇團が、先日成立した映畫協會と同じ樣に演劇協會として別個に生長するか、又は映畫協會の中に入つて映畫の配給と併行して各地の常設館を巡業するか、その邊のことは詳かでないが、唯こゝで考へられるのは映畫協會が劇映畫の作成を開始するに當り必要なる滿人俳優の募集、選擇を如何なる方法でなすか、この劇團關係の俳優中より適宜採用養成し、將來兩者の間の自由な俳優の融通をなすといふことも一つの方法であらうと思ふ。現在の樣では他に適當なる方法も考へられないやうである。

以上初日の公演を見て雜感をまとまりなく走り書したが結局するにこの劇團が眞面目な社會的意圖を持つて立ち上つたことは十分に諒解され、唯設計に關しては研究の餘地尚多々存し將來の發展、生長を期待するのである（八、二九）

女流七家撰評（一）

小野寺宮助

過日女流七家撰と題し在新京女流歌人の自選歌が連載されたので在新京歌人は等しく刮目された事だらう。新京の閨秀歌人はあの七家に限らずまだ澤山居る筈であるのに玉篇を深く藏して拜見出來ぬのは遺憾である。凡そ藝術作品は發表することに依つて進歩するものである。然るに日本の女性は古來何事も内に祕することを以てゆかしい婦德とした。それは現代とても變らないがさりとて篋底に深く祕して寶の持ち腐れとなるも口惜しい。況んや瓦石に等しいものを珠玉と自惚るゝに至つては笑止千萬である。さう言ふ人に限つて藤口はなかなかさかしいものである。

歌は日本撫子が婦德を修養する上に好資料となるべきものである。この意味で私は女學生に歌を奬勵し指導した事がある。尤も歌は道義的なものばかりではない、寧ろ縁愛歌に却つてその本領を發揮することがある。歌は全人格の表現であるからである。巧拙は別として眞實の歌は即ち眞實の自己である。作爲した歌には其の跡が直ちに現はれる。歌ほど僞れぬものはない。唯同じく自己表現でもその表現には自ら巧拙がある。そこに修練の必要がある。それには心を澄まして他の批評に耳を傾けなければならぬ。所が婦人の方は動もすれば好評には喜ぶが惡評には直ぐ棘血相を變へる傾向がある。今女流七家の作品を批評するに當つても怒髮を顫はされなければ幸である。以上を前置として以下掲載順に歌評を試みよう。

▲夏草の花　鈴木ゆき

ふるさとの野べにもあまた咲きゐしと思へばかなし野菊の花は

朝のまのすがしき窓べに置きて見る瓶の夏草露のまゝなる

右二首を頂戴する。氣品もあり素直な歌である。殊に後の歌が詠出も自然であり讀んで清楚な感じを受ける。他の六首も皆穩富な歌ひぶりで取り立てゝ難ずべきものもないが、それだけ纖細な觀察眼が働いてゐないのを遺憾とする。歌をこなす力量は十分認められるが夏草に對しての女性特有の微妙な感受性をも少し鬪明に表現してほしかつた。

▲折々の歌　石田幸

おどろしくあらし過ぎ行く音すなり子は汽車ぬちによろこびて居む（二兒奉天へ）

子を旅立たした後の母の思ひやりが現はれて親しまれる歌である。

今やまさに風雲急と告ぐるなり北京の姉が身は憂ふべし

結句の「べし」の用法を誤つたゝめに全體をぶちこはしてゐる。この「べし」の意義の解釋に苦しむ。「命令」の意か「當然」の意か「義務」の意か「推量」の意か、恐らく「當然」の意味に用ゐたのだらうが、それにしてもピッタリ來ない。切に姉の身の上を案じてゐる人が「姉が身は憂ふべし」と客觀描寫をする餘裕のあらう筈がない。

「母の骨はも泣いて拾ふべし」と詠んだとしたらどうであらうか、泣くどころか却つて半ば笑つて骨を拾つてゐるやうに響く。

（三）盛夏抄　小野寺清子

一塊の土だにあらぬアパートなり花がめの花の萎へ速き

苦力等の勞働は長し陽はまたく落ちてゆ夕餉の竈を焚きをり

二首共大體首肯される歌である。但し前歌の「一塊の土だにあらぬ」は乾燥したアパート生活を強調しようとした意圖は汲めるが一歩進めばいやみに陷る危險性を孕んでゐる。その襟から言へば後の歌の方が平凡なやうで、却つてよい歌に仕上つてゐる。

向日葵

三木朱城

向日葵や泥まみれなる租界標

向日葵や庭に遊べる登山驢馬

向日葵や埃まみれのランプ賣る

軒低く花向日葵に住ひ居る

防空演習參加

向日葵にやつれし面輪見かはしぬ

向日葵に二百十日の雲白し

向日葵や藥草園の札かしぐ

虹の輪の或る時うすし寢藤椅子

颱宜の馬車藝者の馬車や夏祭

雨の歌

高木恭造

季節かげり
こゝろ傾く
注ぐ雨ぞ
鋪に滲む
濡れる胸に
すがた溢れ

しろき雨に
こゝろ溺る
逝ける「時」に
想ひ失せず
やけにたゝく
雨に暮れぬ

吉林俳句會

遠雷やサラ〳〵と園吹かれゐる　秀峯

一家してあげゐる線香花火かな　蘇溪

線花火消えて星ふる戻かな　砂人

空見ては河見ては待つ花火かな　久仁夫

向日葵にたそがれ深し遠花火　弓汀

手花火や闇に痒く顔あどけなき　南涯

空鳴の雷遠のきし暑さかな　伯陽

日雷シャボテンとげを鋭うす　山彦

遠花火上りて消えて音の來し　虎杖

鳴神や胡同の中になれて住む　一顆

蜻蛉や城内にある凉　春汀

手花火やまさをき草の露をもつ　村路

新刊紹介

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△博愛（八月號）森秀臣「水泳と救急處置」その他赤十字社關係のニュースを盛る（東京市京橋區築地二丁目二、博愛發行所十五錢）

△正金週報（八月二十號）世界鐵生産額、獨逸の米棉買付交換取引制、モントロー會議の顛末等を掲載す（横濱正金銀行調査課）

△奉天商工月報（八月號）上半期奉天經濟概況、奉天を中心とする水田事業に就て、滿洲に於ける輕金屬工業に就て、其他經濟法令、經濟時報、市況、記錄等を載せてゐる（奉天加茂町三奉天商工會議所、五十錢）

△滿洲評論（八月二十八日號）時評「日支事變か北支那事變か」「上海の中立化とは何ぞや」「滿洲鋼材販賣統制に就て」岸田英治「北支事變の基本的觀點」黒田五郎「日支事變と國際關係」S・Y「事變渦中の天津印象記」愛甲勝矢「滿洲農村雜話」等（大連市大廣場東拓ビル、滿洲評論社、十五錢）

△實業之日本（八月號）上松正「北支事變費と財政の將來」「現內閣の財經政策と日滿ブロックの强化」井上德三郎「滿洲國に於ける產業資源の開發」等（東京市本郷區湯島三組町八一實業之日本社、五十錢）

△實業之日本（九月號）三宅雄二郎「帝國に與へられた問題」伊藤好道「北支事變と特別税の意義」木下繁雄「硫安問題に躍る人々」その他各方面の經濟評論を盛る（東京市芝區芝公園五號地一〇ノ三、實業之世界社、三十錢）

△大吉林（八月號）楠村大吉「北平の印象」中西佐太郎「吉林の問題」その他吉林展覽風景巡禮などローカル色濃い雜誌（吉林市大東門裡、大吉林社、三十錢）

病める眼　疲れた瞳を
生活線上から一掃せよ！
健全なる視力の確保こそ
頭腦明澄化の前提だ！

正しい眼藥の選びかた

眼は解剖學上、腦の一部と見做される人體最高の器官で眼の故障は直に腦に影響し、吾人の活動能力を低下させます。實に『眼は人生を支配する』と申すも過言ではありません。

現代人は、然しながら、強烈な光線の刺戟、塵埃、煤煙、交通煩瑣な街頭の步行、空氣の汚染せる場所に於ける長時間の勞働、執務、讀書勉強等により日常絶えず、眼病菌感染、視力衰耗の危機に曝されてゐるのです故に——

優秀なる眼科藥の選出、常用によつて、不快な眼病を豫防、治療し、視力の強化を圖ることは、衛生思想に目覺めたる現代人相互の重要な責務でなくてはなりません。

スマイルは斯様な現代生活の要求に應じて創製された、最も正しく最も合理的な眼科藥で、處方極めて適確、製劑行程飽く迄嚴格なるため、藥液中にアルカリ成分の遊離を見る等のこと些もなく、絶對至純の澄明度を保持し、常に強力、迅速なる藥効を發揮する事實は夙に**中村・仁藤兩博士の御推奬**を勝ち得て居る處です。即ち

本劑はその適確なる殺菌・消炎・收斂作用により下記の如き各種眼疾の際一日數回の點眼にて克く卓効を奏すると共に日常連用すれば眼に榮養を與へて、視力を強め、充血溷濁を除いて明澄な瞳を調へ、然も副作用、習慣性等を來す虞の絶無な現代人向きな高級眼科藥です。

容器に對する科學的な用意

スマイルの容器は特殊の褐色硬質硝子と、不溶性で隙間の出來ぬグッタペルカ口栓を用ひて作られてゐますから、保存振盪等により藥液が變質し、アルカリの游離を起して溷濁したり、夾雜物の混入する様な虞は絶對にありません。御使用の際銀色の蓋を外し、容器の尖端を目の近くに持ち來し、直接眼に觸れぬ様注意して、食指で壜底を輕く打てば、獨特の自働點眼式装置により一滴宛快く衛生的に點眼されます。

結膜炎　（はやり目）目の中がゴロゴロし眼瞼が腫れ眼脂や涙が溢れる時ースマイル一日數回の點眼で快く恢復します。

トラホーム　この執拗な傳染性眼病も眼の清潔とスマイルの常用で豫防され、罹患の際も此方法で著しく治癒を早めます

角膜炎　（ほし目、かすみ目）黒眼にホシが出來、眼が霞み、眩しくてならぬ時——スマイルを點せば速に輕快します

眼精疲勞　（つかれ目）仕事の際眼が疲れ易く視力が鈍り頭の働が衰へる時——スマイルを點せば眼も頭もハッキリします。

眼瞼炎　（ただれ目）眼瞼や眼尻が爛れ痛んで痒く不愉快な時——スマイル點眼を繼續すれば快く美しく恢復します。

充血　はれ目・ち目等一切の眼の充血溷濁にスマイルを點せば直ちに明澄な瞳と強い視力を回復し氣分も爽快となります

明快なる眼科治療劑
スマイル

（定價）二十五錢・四十五錢
全國藥店・百貨店藥品部にあり

總代理店　株式會社　玉置商店　東京・大阪

S-A-10

國境に散る華又五輪

德江少佐等五教官 熱河國境で戰死

激戰二回、敵軍を潰走せしめ 國軍戰史に輝く偉勳

國軍〇〇支隊は熱河西南境に於て破竹の勢を以て攻撃してゐるが卅一日治安部への入電に依れば今次戰闘に於て軍事教官步兵少佐德江敏雄氏は十數名の部下を率ゐて敵状偵察中敵の包圍攻撃を受けて應戰、敵を潰走せしめたが遂に壯烈なる戰死を遂げた、また軍事教官步兵中佐相馬勝美氏以下市川忠作上尉、岡田勝男中尉、吉田實軍需中尉の部隊は同戰闘に續く第二次戰に何れも壯烈な戰死を遂げ國軍の精華を遺憾なく發揮した【寫眞上から壯烈な戰死を遂げた市川上尉、岡田中尉、吉田中尉】

五氏略歷

（三十一日治安部發表）―熱河西南境に於ける戰闘に於て戰死せる德江少佐、相馬中佐以下の略歷は左の通りである

德江敏雄氏は宮城縣栗原郡高清水町の出身で當年四十三才、昨年十一月滿洲國軍事教官として來滿、上下に信望が厚かつた、家庭には妻と二男一女があり、家族の住所は同縣伊具郡角田一五六である

相馬勝美氏は青森縣弘前布徒町川端の出身で當年五十一才、昭和十一年五月着任人望が厚かつた

市川忠作上尉は北海道釧路市旭町の出身で當年三十五才康德元年十一月一日步兵中尉として來任、同四年四月一日上尉に進級して現在に至る

岡田勝男中尉は大分縣宇佐郡柳ヶ浦村出身で當年廿五才康德三年十一月廿八日步兵中尉として來任

吉田實軍需中尉は廣嶋縣佐伯郡大林町の出身で當年卅二才、康德三年十一月一日軍需少尉として來任、同四年四月一日中尉に進級して今に至る

窓口で强奪

三十一日午前十一時四十分ごろ市內日之出町萬來棧店員任永衡（十八）が主人の命で大馬路滿洲國中央郵局拂出窓口にて預金三百圓を百圓札三枚で引出し、ポケットに入れんとした際傍に居た年齡三十才前後の男が突然右金額を強奪人混みを潜けて脫兎の如く戶外に逃走した、屆出により首都警察廳では極力犯人搜査中であるが、盗まれた百圓紙幣は中銀發行の新紙幣で一般では百圓札で金錢收受の際は注意し萬一不審の點があれば早速屆出られたい

女給訴へられる

本籍福岡市大濱三丁目四番地特別市豐樂路カフエーモンテカルロ女給山中フユさん（二一）＝假名＝は去る六月下旬まで奉天に於て內縁の夫畫家高橋義雄（二五）と同棲、生活の不如意から前借二百五十圓で奉天加茂町明星ダンスホールにダンサーとして働いてゐたが、いつしか夫高橋は情婦をこしらへ以來三角關係の氣まづい爭ひに夫婦の愛情にも龜裂が生じて愛想がつき、いつそいまはしい思ひ出の地奉天から逃れるべく前借そのまゝとして去る六月下旬來京富士町カフエー富士に女給として住込み續いて八月二十日頃前記モンテカルロに轉じたが、來京後フユさんは明星ダンスホールより前借問題の整理方に關し再三の督促に接したがどうにもならずそのまゝとして過してゐたところ明星ダンスホールより詐欺罪として告訴され卅一日領警署で高柳司法次席の取調べをうけた

國婦代表の海軍將兵 献金と野球聯盟献金

國防婦女會首都支部皆川、大津、金各副支部長は三十一日正午駐滿海軍司令部を訪れ日比野司令官に面接し上海で暴戾支那軍膺懲の聖戰に奮闘する海軍將兵の慰問金として金五百圓を献金した【寫眞上】新京野球聯盟では去る二十二日より五日間西公園球場に於て擧行した献金野球大會の總收入金一千圓也を聯盟の杉谷（電業）鈴木（電々）水原（滿洲國）藤戶（新京俱樂部）の四氏並に孫氏（審判協會）が携へ關東軍を訪れ小林高級副官に獻納手續をとつた【寫眞下】

九月（小）

鐵が大奔騰を續ける日、巷にはシュールレアリズムが持て囃された

よしや、向日葵が圓の軌跡にうら枯れる日も、人々はそれから、ソレルラと笑つてゐた

私は知つた—人々がいかに喜びを欲してゐるかを。エノケンが懸つた活動館の中でもまざまざと、悲しく知つた

夕べ楡の鋪道に霧降り、人々はセルの胸をつつんで、ひそひそと續いた

香高いコーヒーを啜み、女の子の前で羞つて男達は幸福であつた

女達は—女達は、イロハニホヘト、チリヌルオワカと公衆電話で打合せをした

九月の異名（倭）長月、菊月、寢覺月、小田刈月（漢）暮秋、無射、窮秋、季秋、抄月

▽氣節 二百十日（一日）白露（八日午前十一時）二百二十日（十一日）彼岸（廿日）秋分（廿三日午後八時十三分）秋日（廿八日）

▽月相 新月（五日）上絃（十三日）滿月（二十日）下絃（二十七日）

▽行事
- 一日 關東震災記念日、關東局始政記念日
- 四日より四日間 新京秋季第二次競馬
- 七日 祀孔秋祭
- 九日 重陽節句
- 十三日 乃木祭
- 十四日 新京神社宵宮祭
- 十五日 新京神社秋季大祭、日本の滿洲國承認記念日
- 十六日 國都建設記念式於（大同公園）第一日
- 十七日 黃海々戰記念日、國都建設記念式第二日
- 十八日 滿洲事變勃發記念日
- 十九日 中秋節
- 二十日 彼岸の入り
- 二十三日 秋季皇靈祭
- 二十八 記關岳秋祭

▽花曆 萩、薄、木芙蓉、木犀、くず、カンナ、コスモス、ダリヤ、龍膽、黃蜀葵、我亦香、水引、鶏頭、秋蒔草物の播種、宿根草、花木の株分、芝植付、常綠濶葉樹の整枝

▽風味曆 さば、芝えび、烏賊、かじき、はぜ、かます、太刀魚、まぐろ、ぼら、あなご、小鰈、甘鯛、鮑、ほたて貝、松茸、初茸、メ治茸、木茸、胡桃、芋類、ぶどう、午蒡、無花果、ざくろ、梨、林檎

滿炭總會 來る十日開催

滿洲炭鑛株式會社では九月十日午前十時本社にて第三期定時株主總會を開き當期貸借對照表、利益金處分案、重役改選の件等を附議する筈であるが、重役は大體留任と內定してゐるが、今期より常任監事制を廢止することゝなつたので久保田常任監事は平監事として殘ることになり、日滿商事入りをした竹內常務理事の代りには社內の技術家方面から起用する模樣である

市民陸上競技大會 來る廿三日擧行 參加申込は十八日迄

本年シーズンの掉尾を飾る新京市民陸上競技大會は新京體育聯盟滿鐵運動會新京支部陸上部の主催で九月二十三日午後一時（大雨の場合は二十五日午後二時）から西公園滿鐵運動場で開催される、競技種目は

△男子トラック百米、二百米、四百米、八百米、千五百米、五千米、百十米ハードル、四百米リレー、千六百米リレー、フキルド走巾跳、走高跳、三段跳、棒高跳、砲丸投（十二ポンド）圓盤投、槍投

△女子トラック百米、二百米リレー、フキルド走巾跳、砲丸投

等で參加資格は新京在住者、申込料不要申込期日は九月十八日正午までに滿鐵支社地方課社會係へ申込むこと、十八日以降の申込みは絕對受付けぬことになつてゐる

關東局始政記念 けふ滿鐵支社は休業

九月一日は關東局始政記念日に當るので滿鐵新京支社は祝意を表して休業する、なほ同社の執務時間は二日から午前八時より午後四時までに改正された

海友會慰問袋發送 引續き再度募集

新京海友會ではかねて上海の陸戰隊に送る慰問袋を募つてゐたが三十一日で第一回の分を一先づ締切つたところ東條、星野、田中（中銀總裁）山口（滿鐵支社長）各夫人を始め各方面から贈られた眞心こめた慰問袋は四百五個に達し同會事務所では三十一日午後荷造りして駐滿海軍部に屆け上海陸戰隊宛送荷の手續をとつたが駐滿海軍部でも市民から贈られた銃後の熱誠に感激して直ちに戰場第一線に送られた、なほ引續き慰問袋を募集するから第一回に遲れた有志は吉野町一丁目宮本嘉久二方まで屆けられたいと

慰問袋二個 土井深氏寄託

三十一日午後新京郵政管理局の土井深氏から慰問袋二個の寄託があつた

協和會皇軍慰問團 きのふ出發

協和會ではさる二十三日の國民大會の決議により、各省本部から代表者を北支に派遣して皇軍を慰問することとなつたが三十一日午後二時十分發あじあで吉林（范）龍江（楊）牡丹江（關）濱江（郭）の各省代表が松川本部指導員に引率され田邊首都本部長を始め各分會員多數の見送り裡に出發した

商業學力檢定受驗者講習會

新京商工會議所の第一回商業學力檢定試驗は既報の通り九月二十三日から同二十五日まで實施するが受驗者の便宜を計り學科質疑應答講習會を一日から十六日まで每日午後六時から同九時まで記念公會堂で開講する、なほ講習會委員會では開講を前に三十一日午後四時から公會堂で委員會を開き準備打合せをなした

商業實包射擊

新京商業學校では一日午前八時半から同校射擊場で實包射擊大會を實施する

フレンソーダ

京中の加茂敎務主任は色白で長驅を携げ校內切つての男振りを發揮してゐるが▼あれでどうして學生時代は水泳の選手に推され特に氏は平泳が十八番であつた▼ところが先だつての水泳大會では職員對生徒の二百メートルリレーに見事ゞ殿を承つてクロールの手ぎわの良い處を見せて生徒を驚かした▽あとで曰く「短距離は苦手でして、遠泳ならまだ決して生徒に負けはとらぬが」とうらめし相にプールの四ッ隅を睨みつけた、そう言ふだけに心臟の方は未だ確からしい

天氣と氣溫

けふの天氣 南寄りの風晴後曇り一時驟雨
- 日の出 前六時〇〇分
- 日の入 後七時一七分
- 月の出 前〇時三〇分
- 月の入 後三時五九分
- きのふ 最高 二七度
- 氣溫 最低 一三度七

國防皇軍慰恤献金品（本社取扱）

- 一金八千六百八十八圓八十二錢
- 一慰問袋 六百八十九個
- 一千人針 九枚（關東軍司令部へ）
- 一金三百十圓（駐滿海軍部へ）

累計八千九百九十八圓八十二錢 ……八月三十日迄の分……

△三十一日受付慰問袋二個金五十圓

水害罹災民へ 畏くも御內帑金御下賜

畏くも滿洲國皇帝陛下が安東、錦州其他各方面に於ける今次の水害罹災民救濟のため御內帑金金一封を御下賜あらせられた

嫁入學校を兼ね"成人教育"講習會 あすから敷島高女で開講

新京敷島高等女學校ではかねて卒業生で未婚者の花嫁準備をかねて和洋裁、箏曲、三味線生花、茶の湯を始め日本料理、西洋料理、書道その他時事常識問題にいたるまで成人再教育の意味で各科目とも斯界の權威者を講師に依賴して講習會を實施すべく講師に依賴時間割その他會員募集等の準備を進めてゐたが講師もそれぞれ大體決定、會員延人員七十餘名の申込みがあつたのでいよいよ二日（木曜日）午前九時から同校講堂で開講式を擧行することゝなつた、同校卒業生に限らず高等女學校卒業生の入會を大歡迎するとのことである、同講習會の要項は次の通りである

一、名稱、若葉會修養講習會

一、科目、每週回數及び講師 和裁三回（東京女高師卒佐藤智惠子夫人）洋裁二回（同上）箏曲、三味線二回（師範小松雅蓉氏）生花一回（表千家流大日本花道家元正教授藤井カツ子夫人）茶湯一回（同上）日本料理一回（日本料理研究會理事野田市太郎氏）西洋料理一回（ヤマトホテル料理人未定）書道一回（敷島高女教諭首藤務氏）常識科一回（其都度各方面の權威者に囑託）

一、每日午前九時から正午まで午後一時から同四時まで

一、講習料一科目一回のもの（料理、常識科、生花、茶の湯、書道）月一圓五十錢一週二回のもの（洋裁、琴三味線）二圓五十錢、一週三回のもの（和裁）三圓五十錢

準硬式野球大會（本社主催） 申込み續々到る 締切は七日・三協運動具店へ

いよいよ本年度野球シーズンも終らんとする秋本社が贈る準硬式野球大會は球界掉尾の豪華版として官廳、會社、商店のアマチュアー野球マンに歡迎され、總務廳、經濟部司法部、市公署、中銀、電業天狗俱樂部を始め續々申込みあり盛會が豫想されて居るが優勝チームに授與する美麗な優勝旗も間もなく內地より到着する筈で一入大會に興味が持たれて居る、なほ組合せ抽籤その他の都合に依り七日に申し込みを締切るから出場希望チームは七日迄に室町三協運動具店宛申し込まれたい

クロンプラン交通信號機 近く康德會館前に設置

治安部發令の交通整理規定及び信號方法に關する規定はいよいよ九月一日から實施されたが國都に於ける交通取締りは從來の殼を破つて面目を一新文化的に一段の整備を見ると共に各種交通機關の同規則遵守と一般市民の交通訓練、交通道德心向上とによつて街の悲慘事交通事故は將來大いに緩和されるものと期待されてゐるが同交通整理規定による信號機に就いては首都新京に恥かしからぬ立派なものを設置すべくかねて取締當局たる首都警察廳並びに國都建設局、特別市公署の三者間に種々折衝中であつたがこの程三者間に意見纏まりいよいよ交通信號機としては最上級の性能を持つクロンプラン式自働的交通信號機を設置するに決定を見たので首都警察廳では解氷期を目前に三十一日早速發注方を東京に打電した

同信號機は價格約千五百圓で解氷期までに到着すれば取敢えず年內に康德會館前に設置するが設置費用其他を含めて約三千圓を要する見込みである、性能は赤（停止、綠（進行）、橙黃色（注意）の三色により交通動作を示すもので、最初の訓練期間は交通警察官の操作に依つて行ふが將來街の辻々に設置されやうになれば甲の交叉點で進行の信號を受けた交通機關が一定のスピードを保つて進行すれば乙地の交叉點でも同樣進行の信號に行き當つて止まることなく進行出來得る警察官の手を必要としない自働的に優秀な信號機である

義人長七郎

（禁上演映畫化）中川雨之助　竹枝一郎畫

（二十九）

仕掛の罠（四）

何故ですか、わかりません。けれども彼女の家に困つた怪しの浪人大江軍平には、その話をした。そしてその話を聞いた軍平は、あわてゝ旅へ出てしまつた。行く先は何處か、まだ分らないけれど、どうやら彼の鍛の旅は、そのお銀付と、なにかの關係が有るのではないか、と思はれるのに、その事を一切長七郎に打ち明けなかつたところを見ると、どうもこのお銀といふ女の肚に、なにか秘密が寝てゐるやうにもおもはれてなりません。」

それは偖おき、お銀のこの話を聞いた長七郎は、前にもいつたとほり、例の持前の義俠心から、

「性懲もなく、仕返しをくわだてるなぞとは、不埓千萬。では、その鍼を掻いて、一ト泡吹かせてやれ」

といふので、その夜、永楽屋の家族の者は、悉く他へ避難させて置いて、長七郎は主人幸兵衛の部屋に、愛刀因幡小鍛冶影要を引つけて頑張つてゐるし、お銀はお銀で、奥お客の臺所に忍んでゐるし、豪傑鳥居家兵衛は、螺鱗にかくれ、自慢の握りこぶしに息を吹かけて、いざ來い來れと、手具脛引いて待つてゐる處へ、三人がのこ〜忍んで來たのだから堪りません。

三人のために摑み醉に遭ひ、退退こゝにきはまつたが、窮鼠却て猫を咬むの譬。そのうちに雨宮小十郎、僞の隙を覗つて、家兵衛の袖の下を潜つて逃げようとしました。まるで鼬鬼のいきほひです。

ところが駄目でした。

「おッと、どつこい！」

能ふいところで、家兵衛の拔群が伸びて、ムンヅと襟首を摑まれてしまひました。

「あッ！」

痛いのなんのつて、お話になりません。鳥もちにくつゝいた蠅のやうに小十郎、手足をもがいたが所詮敵ひません。

「えいッ！」

掛聲もろとも、家兵衛の金剛力で投げられると、マサカ唸りを立てるほどではなかつたが、向うの塀際へ叩きつけられ、響きを立てて打倒れると、再び起上る勇氣はありません。

「ソレ、縛り上げろ」

「ハッ、心得ました」

可哀さうに、三人は又た、否も無く縛り上げられてしまひました。よく〜縛られることに縁の深い連中です。

×　×　×

仲間の知らせにより、用人の鉦尾藤内が、驚いて門前へ出てみると、なるほど人間が一トかたまりうづくまつてゐる。しかも三人ながら武士です。

御尻を、堅く梯にしばりつけられてゐるので、身動きもできません。

おまけに三人の刀は、ことごとく荒縄で一ト括げにして、大根か、牛蒡でもほり出したやうに傍らに投げ捨てゝあります。

「おの〜方、この有様は、いつたい、どうしたものでござる」

といひながら、藤内は傍へ近寄つて行きました。

猿ぐつわを嚙されてゐるので、返事はできません。只ウム〜と唸るばかりです。ところで藤内その顔を透かし見て、おどろきました。

「あッ、これは〜、どなたかと思つたら、雨宮さんに、鳥居さんに平岡さんではございませんか。是はどうも大變なことで……」

あまりのことに惑れて、藤内は、扉を鎖いてやることも忘れて、そのまゝ奥へ飛込んでしまひました。